

**医学部・看護学部**

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地  
TEL 024-547-1111(代表) <https://www.fmu.ac.jp>

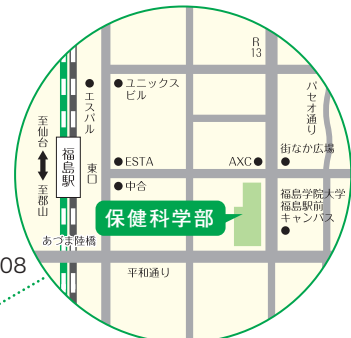
**保健科学部**

〒960-8516 福島県福島市栄町10番6号  
TEL 024-581-5503

**入試等についてのお問合せは…**

■医学部・看護学部に関すること  
教育研修支援課(入試係) TEL024-547-1093

■保健科学部に関すること  
保健科学部事務室(入試・企画係) TEL024-581-5508



JR福島駅東口から徒歩5分



公立大学法人  
**福島県立医科大学**  
医学部・看護学部

【車】東北自動車道 福島西 I.C.より約13分、  
福島松川スマート I.C.より約8分  
【バス】JR福島駅東口バス乗り場  
(5番または 6番ポール)より乗車、  
「医大病院」または「医科大学前」下車(約36分)



SCHOOL of MEDICINE

SCHOOL of NURSING

SCHOOL of HEALTH SCIENCES

GRADUATE SCHOOL



変化を進化に

F U K U S H I M A

M E D I C A L

U N I V E R S I T Y

GUIDE BOOK 2022



F U K U S H I M A  
M E D I C A L  
U N I V E R S I T Y

GUIDE BOOK 2022



公立大学法人 福島県立医科大学  
**会津医療センター**

〒969-3492  
福島県会津若松市河東町  
谷沢字前田21番地2  
TEL 0242-75-2100(代表)  
FAX 0242-75-2150(総務課)  
<https://www.fmu.ac.jp/amc/>





BELIEVE

IN

YOU.

それは、  
人を笑顔にするチカラ。

医療に携わる人間として忘れてはいけないことがあります。  
それは医療のチカラを信じるということ。  
例えば、世界中を巻き込む感染症が流行したとしても、  
例えば、多くの命を奪う自然災害が起こったとしても、  
医療のチカラを信じて前を向いていくことだと思います。  
時には、目を背けたくなる現実が立ちのぼるかもしれません。  
時には、為す術もなく立ち止まることになるかもしれません。  
それでも医療のチカラが、人々を笑顔にすることを信じ、  
前へ、未来へ、進んで行かなければなりません。  
変化を進化に、その先へ。  
君たち一人ひとりがそのような医療人になることを、  
福島県立医科大学は信じています。

## CONTENTS

学長メッセージ	03	教えてセンパイ!気になるキャンパスライフのコト	37
福島県立医科大学の理念	04	from GRADUATES~卒業生からのエール~	39
学部インデックス	05	キーワードで知る福島県立医科大学	41
医学部	07	CLUB&CIRCLE	43
看護学部	11	CAMPUS MAP	45
保健科学部	15	FACILITIES_各種センター・施設	47
大学院	21	WEBオープンキャンパス	49
医療人育成・支援センター	25	YELL! FROM STUDENTS	50
RESEARCH STORIES_研究紹介	31	DATA_データで見る福島県立医科大学	51
VOICE	32	NEWS 助産師養成2課程設置構想中	54
CROSS TALK~一度、話してみたかった~	33		



福島県立医科大学の  
シンボルマーク

福島県立医科大学らしき(University Identity:UI)を視覚化したもので、  
緑とサクラとFの文字を組み合わせています。[平成20年11月2日制定]



# MESSAGE

常に新しい道を  
切り開く大学として

FUKUSHIMA  
MEDICAL  
UNIVERSITY



震災から10年が経ちました。震災直後に、福島県の復興を医療と健康の面から支えようと宣言した本学は、それ以来、教職員が一丸となり総力を挙げて復興の取り組みに邁進してきました。

県民の健康長寿の延伸を目的に、生活習慣に起因する病気を防ぐべく、科学的エビデンスに基づいた健康指標の分析や評価、それらを担う人材の育成が進んでいます。新しい医療産業の創出を目的に進めてきた研究活動では、新型コロナウイルス感染症の治療薬として中和抗体治療薬の研究が世界の注目を浴びています。福島に最先端の医療をもたらすべく進めてきた診療活動では、アルファ線核種を使ったRI内用療法の研究が国家プロジェクトの一翼を担っており、その成果を世界と競っています。

このように、震災から10年を経て、多くの復興プロジェクトが次第に成果を上げてきています。これらの成果を礎に、より良い医療の提供と医療人材の育成を加速させるとともに、福島イノベーション・コースト構想にも積極的に関与し、医療分野における福島の新しい未来の創造をリードしてまいります。

理事長兼学長  
竹之下 誠一

## 福島県立医科大学の理念 (令和元年6月26日制定)

福島県立医科大学は、県民の保健・医療・福祉に貢献する医療人の教育および育成を目的に設立された大学である。同時に、研究機関として、不断の研究成果を広く世界に問いかけるという重要な使命を担っている。

もとより医療は、すべての医療人が共に手を携えて、すべてのひとのいのちと健康の問題に真摯に向き合い、その未来を拓く営為である。その基盤とすべきところは、個人の尊厳に対する深い配慮と、高い倫理性である。

福島県立医科大学は、以下に掲げることを本学の理念として、教育、研究および医療を幅広く推進していくものとする。

01 ひとのいのちを尊び倫理性豊かな医療人を教育・育成する。

02 最新かつ高度な医学、看護学および保健科学を研究・創造する。

03 県民の基幹施設として、全人的・統合的な医療を提供する。





# INDEX

## 学部インデックス

福島県立医科大学は3学部6学科と大学院からなり、医療系総合大学としての特徴を活かした、専門教育のための環境があります。



学部	学科
医学部	<b>医学科</b> 「生涯にわたる健康な暮らし」を願う県民の期待に応えるべく、確かつ迅速に対応し、医療の未来を担う、より高度な技術、判断力を持った医師の育成を目指しています。
看護学部	<b>看護学科</b> 医療の介助のみならず、入院中あるいは在宅における生活の質を高めることや健康増進、病気の予防、セルフケア能力の向上に関わる、看護の専門性を携えた人材育成を目指しています。
保健科学部	<b>理学療法学科</b> 日常生活にかかせない基本動作を改善させる、運動機能回復のスペシャリストの育成を目指しています。
	<b>作業療法学科</b> 「こころ」や「からだ」に障がいがある方の日常生活の自立や社会復帰を支援するスペシャリストの育成を目指しています。
	<b>診療放射線科学科</b> 高度な放射線診療機器を活用し、患者さんを救う放射線のスペシャリストの育成を目指しています。
	<b>臨床検査学科</b> 血液検査、生化学検査、微生物検査、病理検査、生理学検査など診療に必要な検査のスペシャリストの育成を目指しています。

福島県立医科大学

学科	専攻	学習コース
医学研究科	医学専攻 (博士課程)	高度医学研究者コース
	医科学専攻 (修士課程)	専門医研究者コース
看護学研究科	災害・被ばく 医療科学共同専攻 (修士課程)	総合医科学プログラム
	看護学専攻 (博士前期課程)	社会科学プログラム
	看護学専攻 (博士後期課程)	医科学コース
		保健看護学コース
		研究コース
		CNSコース

大学院

FUKUSHIMA MEDICAL UNIVERSITY

## 福島県立医科大学の3つの方針(ポリシー)

### POLICY

### 1 DIPLOMA POLICY

#### 卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

本学は、次のような能力を身につけた者に学位を授与します。

- 医療に携わるプロフェッショナルとしての知識・技能および倫理観を習得した者
- 福祉と医療の分野において社会貢献できる能力を有する者
- 科学的思考力および自律的に生涯学習を継続する姿勢を習得し、医療の発展に寄与する成果を発信する基礎的な能力を持つ者
- 本学履修規程に則り、卒業までに所定の単位を授与された者

### 2 CURRICULUM POLICY

#### 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)

本学は、次のような方針で教育を実施します。

- 高度化する医療の諸問題を自ら進んで学習し、問題発見・解決能力を養う。また、生涯学習の姿勢を身につける。
- 医療を体系的に学び、疾患の深い理解に基づいて医療人として見識を養う。また、コミュニケーション能力や協調性の育成を図る。
- 臨床の現場を知り、医療人としての自覚を持ち、患者様に寄り添う心を身につける。
- 福島の地域医療の現状を学び、人々の健康を守る方法論を学ぶ。
- 科学的探究心と創造性に基づく研究を目指し、世界に飛躍する志を養う。

### 3 ADMISSION POLICY

#### 入学者の受入に関する方針 (アドミッション・ポリシー)

本学は、次のような資質を持つ学生を求めます。

- 高い倫理観と豊かな人間性をもち、命を尊ぶ心を備えた人
- 十分な基礎学力を有し、医療に関する高度な専門的知識・技術の修得を目指す人
- コミュニケーション能力にすぐれ、協調性を持つ人
- 地域の発展や東日本大震災からの福島県の復興に貢献する熱意を持つ人
- 科学的探究心と創造性を備え、医療の分野で、世界に飛躍しようとする志を持つ人



# SCHOOL of MEDICINE

## 医学部

地域を創造する、  
新しい時代の医療を目指して

医学部は、地域医療の牽引車となる使命をおびて、県立の医科大学として創立されました。

「生涯にわたる健康な暮らし」を願う県民の期待に応えるべく的確かつ迅速に対応し、

より高度な技術、判断力を持った医療人を養成します。



もっと詳しく！  
医学部のWEBサイトを  
チェック

## MESSAGE 高い倫理観を持ち、確かな知識と技術を備えた医師を育成してまいります。

福島県立医科大学は、昭和19(1944)年創設の福島県立女子医学専門学校(女子医専)を基盤として、昭和22(1947)年に旧制医科大学(予科)が設立されたことに始まります。それ以降、教育、診療、研究を3本柱として、福島県内の医療を守り優秀な臨床医を輩出してまいりました。また、研究分野では基礎医学と臨床研究との連携の伝統を守りつつ、独創的で質の高い研究を行ってまいりました。

教育面では、福島学や放射線災害医療学などといった本学独自の科目群が、基本的な内容のコア・カリキュラムの周辺にらせん型に配置されており、総合科学系科目、生命科学・社会医学系科目、臨床医学系科目を緊密に行き来しながら、あるいはそれらを融合した総合教育科目を、各自の成長・習熟度に合わせて6年間を通して繰り返し発展的に学んでいく、6年間一貫らせん型カリキュラムによる教育を行っております。

東日本大震災からの福島県の復興に貢献する熱意を持ち、本学に与えられた使命を理解して、科学的探究心と創造性を備え、世界に飛躍しようとする志を持つ人を求めています。私たちが学び、高い倫理観を持ち、確かな知識と技術を備えた医師を目指してください。



医学部長 藤森 敬也

## 求める学生像

- 1 いのちを尊ぶ心を備えた人
- 2 高い倫理観と豊かな人間性を備えた人
- 3 広い視野と適切な判断力を備えた人
- 4 科学的探究心と創造性を備えた人
- 5 地域の発展や東日本大震災からの福島県の復興に貢献する熱意を備えた人

## 卒業後の進路

卒業後は2年間の臨床研修(卒後臨床研修)があり、複数診療科をローテートしながら研修を行います。この研修を終えると、専門医資格取得のための専門研修に進みます。(P.30参照)

### 医大附属病院専門研修の特徴

- ①すべての基本領域プログラムを基幹施設として運用
- ②希望する専門医資格の効率的な取得が可能
- ③専門医と博士号の同時取得が可能
- ④研修協力病院との共同により、必要な症例、症状等を確保

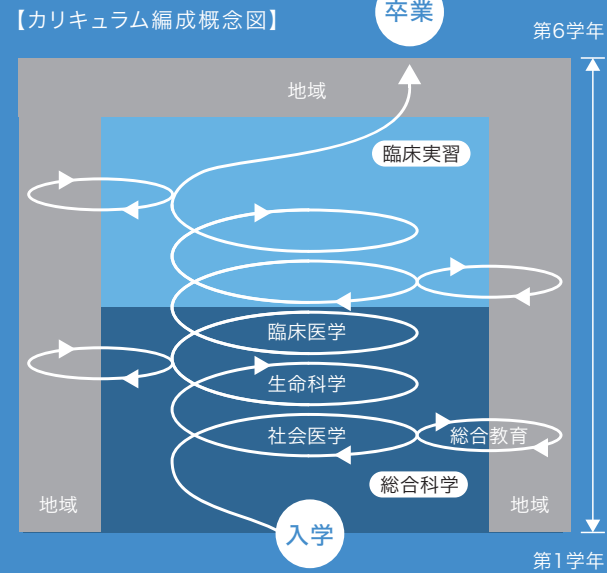
### 医大附属病院卒後臨床研修の特徴

- ①柔軟性をもったプログラム
- ②研修協力病院との「たすきがけ方式」も選択可能
- ③希望に応じて研修協力病院での短期研修が可能
- ④救命救急センター、ドクターヘリによる救急研修
- ⑤内科、地域医療研修時に一般外来研修
- ⑥メンター(相談員)制度によるきめ細かな研修サポート



## 医学部カリキュラムの特徴

医学部では、独自の「らせん型カリキュラム」による教育を行っています。このカリキュラムでは、各自の成長・習熟度に合わせて、基本と発展の科目を繰り返し学ぶことができます。また、県立の医科大学として、常に地域社会を意識し、学習者が大学から地域に出かけ、そこに暮らす人々から謙虚に学ぶという機会を数多く設けています。



## カリキュラム概要

1  
年  
次



語学・自然科学・人文社会科学系科目と総合教育科目群及び生命科学・社会医学系科目を効率よく配置。最初のステージで医学の基本をおさえ、医学を取り巻く課題を多面的にとらえる考え方を学びます。ここでは医療現場や地域社会の見学・調査などを通して、チームワーク、相手の立場を思いやる想像力、自分の考えを伝えるコミュニケーション能力などの重要性についての理解を深めていきます。同時に自分がめざす医師のビジョンが次第に見えてくるステージでもあります。

2  
～  
4  
年  
次



生命科学、臨床医学および社会医学科目の学習とおし、医学について生命現象から医療の知識、保健・福祉や社会との関わりまで網羅的に学びます。2年次には、「人体の正常構造と機能」と「疾病の原因や病態の基本」を学ぶ生命科学系科目群が、3年次には内科系・外科系からの治療アプローチについて総合的に学ぶ臨床医学系科目が有機的に配置されています。また、4年次には、6週間の研究活動（基礎上級プログラム）が実施されます。さらに、OSCE（客観的臨床能力試験）受験・臨床実習開始に先立ち、基本的かつ実践的な診療技術や生命倫理等を学ぶ医療入門が配置され、約22ヶ月間にわたる臨床実習（ベッドサイドラーニング：BSL）へ、円滑に移行していきます。

5  
～  
6  
年  
次



これまでに培ってきたコミュニケーション能力や問題解決能力を発揮しながら、医療チームの一員として医療に参加し、実践的な診療能力を身につけます。アドバンストコースの中には、住民の方の自宅にホームステイしながら、地域の第一線医療機関で長期の実習を行うコースも設定されています。この「らせん型カリキュラム」は、あくまで医学生の学ぶ姿勢をサポートするもので、必ず機械的に段階的に身につくものではありません。

## CLOSE UP LESSON

### 放射線災害医療を学ぶ

医学部では、3年次に患者さん、自分の家族、他の地域の友人にも、放射線と健康について自ら解説できるようになるよう「放射線生命医学学」、「救急災害医療」、「放射線災害医療学」を学びます。さらに4年次から始まるBSLにおいても放射線災害医療及び災害医療について実習を行います。

### 会津医療センター臨床実習

平成25年5月に開院した会津医療センターにおいて2週間BSLを行います。会津医療センターの実習では、内科系・外科系の入院患者をそれぞれ1症例ずつ担当し、プライマリ・ケアに必要な医療面接・身体診察・診断推論・プレゼンテーション能力を習得します。

### 地域との協働による実習

医学部では、地域医療に貢献する医師の育成と定着を目指し、地域の医療機関や福祉施設の協力のもと、低学年から地域住民等と向き合う「地域実習」を行っています。また、高学年の「BSL」では、一定期間地域の医療機関で実習を行う「協力病院コース」や地域住民宅でのホームステイを経験しながら医療研修を受ける「ホームステイ型研修」も選択でき、質の高い実習を行います。

## STUDENT'S VOICE

### 志を同じくする仲間と切磋琢磨しながら、小児科医を目指し奮闘中。

大きな事故と災害を経験した福島県の復興を、医療の面から支えたいと思い入学しました。特徴的な6年一貫らせん型カリキュラムで、様々な科目を関連的に、発展させて学ぶことができます。また様々な実習を1年次から経験することで、将来の目指す医師像を思い描きながら学ぶことができるのが魅力です。今は世界の医療についても論文や留学を通して学ぶことを見据え、英語とドイツ語の学習に力を入れています。世界で学び、地域で実践する医師が目標です。

福田 みちるさん  
(宮城県 仙台第二高等学校出身)



### 将来、医師として誰かが生きるのを手助けしていきたい。

本学を選んだのは、医学を学ぶだけでなく、人間性の向上が図れることや地域医療に力を入れていることに魅力を感じたからです。それが自分の目指している医師像と合致していました。授業ではみんな同じ目標を持っていますので真面目に勉強しており、日々刺激を受けることが多い時間を過ごしています。今は積極的に本を読むようにしています。それは医師は人として未熟ではいけないと思うのと同時に、対話をしている時に医師は価値観が異なる相手の意思を正確に汲み取れるようになる必要があると思うからです。

入江 慧斗さん  
(神奈川県 横浜サイエンスフロンティア高等学校出身)





# SCHOOL of NURSING

## 看護学部

人との関わりから生まれる、  
質の高い看護ケアを目指して

看護学部は、公立単科医科大学初の看護学部として1998年に開設。

また、より高い看護の専門性を携えた人材を育成するために、

2002年4月には大学院看護学研究科を設置しました。

以来、多くの卒業生・修了生を県内外の看護実践・教育の場に送り出しています。



もっと詳しく！  
看護学部のWEBサイトを  
チェック

## MESSAGE 言葉とコミュニケーション

看護学生時代、実習で受け持たせていただいた患者さんとの会話で忘れられない場面があります。その方は、消化器外科系の手術の中で難易度の高い手術を受け、術後合併症もなく経過していたのですが、食欲がなく食事に箸をつけない日が続いていました。ある朝、「おはようございます。今日は顔色良いですね。」と声をかけると、「じゃ、少し食べてみるか?」と話し、お粥とおかずを2・3口食されました。配膳の度に「今日は食べられそうですか?」と、声をかけられるのが苦痛だったと後に教えていただき、話しかける“言葉”の影響の大きさに慄いたことが今でも忘れられません。

人と人との関わりを通して対象を理解し看護援助を提供する看護職にとって、コミュニケーション力は重要な資質の1つです。時に対象となる方の思いを引き出したり、悩み迷う方に寄り添ったり、励ましたりなど、状況に応じた表現力とコミュニケーションスキルが求められます。看護学部での4年間を通して、看護の対象となる方々や協働する医療職とのコミュニケーションだけでなく、学内外の多くの人と出会い、時間を共有する機会からコミュニケーションスキルを磨いてほしいと考えています。



看護学部長 坂本 祐子

## 求める学生像

- 1 人間への関心を持ち、「いのち」と「健康」を積極的に守ろうとする人
- 2 いろいろな観点からものを理解することができる人
- 3 対人関係を通して、ともに成長することができる人
- 4 地域の保健医療を担うという情熱と意欲を有する人
- 5 ものこを論理的に考え、表現することができる人
- 6 大学で学ぶために必要な基礎学力を有し、探求心を有する人

## 卒業後の進路

看護学部卒業後は、看護師の国家試験受験資格を得ることができます。また、必要な科目を選択履修することにより、保健師の国家試験受験資格も得られます。看護専門職者の活躍する場は、病院だけではなく、さまざまな分野へと広がりを見せています。看護学部卒業後の進路としては、病院や診療所などの医療分野や、保健所・保健センター・保健施設などの保健・福祉分野、さらには、行政や教育・研究分野など、幅広い領域で能力を発揮することができます。卒業生のなかには、医療機関等に勤務しながら本学大学院看護学研究科において学ぶ方もいます。

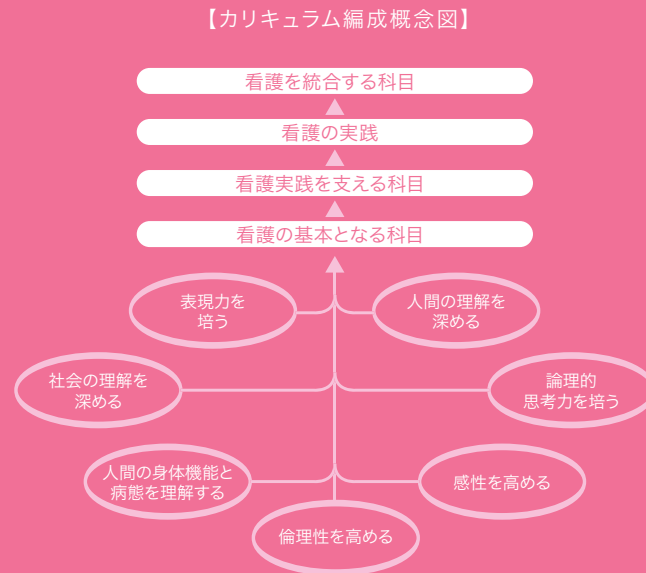
## 国家試験…看護師・保健師

- 病院・診療所・訪問看護ステーション・助産院などの医療保健分野
- 保健センター・保健所・保健福祉施設などの保健・福祉分野
- 保健福祉行政・教育・研究分野



## 看護学部カリキュラムの特徴

文部科学省により看護学教育モデル・コア・カリキュラムが公表されたこと等を受け、教育課程を見直しました。新カリキュラムの特徴は、医学部や保健科学部との連携も見据え多職種連携に必要となるチーム医療について学ぶ科目、及び今後更に重要性が増す地域包括ケアを学ぶ講義・実習を新設し、加えて、東日本大震災及び東京電力第一原子力発電所事故という複合災害を経験した県立大学として災害看護学を充実させました。



## カリキュラム概要

1  
3  
年次



本学部が目指す教育は、看護の対象となる人々がどのような健康状態にあっても、またどのような発達段階にあっても、その健康状態を対象となる人々の生活との関係の中で捉え、自らの知識と技術を統合し、必要な看護ケアを提供できる実践能力をもった学生の育成です。また、保健医療福祉に関わる様々な専門職者と協働し、最終的には看護の対象となる人々自らが健康問題の解決を図り、健康状態を高めていけるように援助できる、創造性豊かな人材の育成に重点を置いています。1～3年次では、看護の対象となる人間の理解を深めるため、心理学や生活と科学、人間関係論などについて学びます。また、倫理性を高める生命倫理、人間の身体機能と病態を理解するための病態栄養学、薬物治療学のほか、表現力を培うための外国語や、社会の理解を深めるための医療と法、感性を高めるための美術などの一般教養も学びます。看護の基本となる科目や看護実践を支える科目、看護の実践、看護を統合する科目と段階を踏んで学び、実践能力を確実に身につけます。

4  
年次



4年次の前期には、1～3年次に履修した講義や演習、実習等の学びをふまえて、自分の関心のある領域や対象を定め、自分の看護実践上の課題を見出します。その課題の解決・目標達成に向けて、既習の知識・技術・態度を統合した看護実践を行う実習があります。実習前には、担当教員との面接やゼミナールを通して、自分自身の課題をさらに明確化し、課題に関連した文献を系統的に検討します。その上で、課題に沿ってどのような実習ができるか検討し、実習計画を立案して、実習に臨みます。9月には、実習報告会で、他の学生の意見や、実習指導者、教員からの助言を受けて、学びを整理しなおし、自身の看護実践能力の向上につなげています。

## 01 STUDENT'S VOICE

医師や麻酔医との連携も必要とされる  
オペ看護師として活躍するのが目標です。

専門学校でも看護を学ぶことができたのですが、より専門性の高い知識をもつ看護師になりたくて本学を選びました。附属大学病院との連携もあり、チーム医療の力も育める、そして高い国家試験合格率も魅力でした。初めは不安もありましたが、同じ目標を持つ人たちと学ぶことは、モチベーションアップにもつながります。今はまだ看護師ではあまり必要とされていませんが、将来的に需要が高まると思いい英語の勉強を少しずつですが進めています。本学で多くのことを学び、福島県の医療に貢献できたらうれしいです。

坪根 未空さん  
(福島県 磐城高等学校出身)



## 02 STUDENT'S VOICE

質の高い医療や看護が福島で受けることができる、  
そのような環境づくりに貢献したい。

地元である福島県に貢献できる医療を学びたいと思い入学しました。先生たちが優しく安心して学べる環境を、とても気に入っています。授業の事例検討で、一人ひとりに合ったそれぞれの看護を考えることは、とても勉強になると感じています。将来的には関東などへ出向かなくても、患者さんの地元である福島で質の高い医療や看護を受けることができるようにしたいと思っています。本学を目指す高校生みなさん、やはり毎日コツコツが大切だと思います。光が丘キャンパスで逢えることを楽しみにしています。

戸田 怜奈さん  
(福島県 磐城桜が丘高等学校出身)



### 2023年4月 助産師養成2課程設置構想中

福島県立医科大学は、ふくしまの未来を担う子どもたちと女性に寄り添い歩む、助産師を養成します。

大学院看護学研究科博士前期課程  
看護学専攻母性看護学・助産学領域助産師コース

定員 **5名**  
程度

別科助産学専攻

定員 **20名**  
程度

※内容は予定であり変更する場合があります。

▶詳しくはホームページをご覧ください **助産師養成課程設置準備室** <https://www.fmu.ac.jp/home/jyosan/>





# SCHOOL of HEALTH SCIENCES

## 保健科学部

国家資格を取得し、  
チーム医療を担うスペシャリストに

保健科学部は、専門医療技術者である理学療法士、作業療法士、診療放射線技師、臨床検査技師を養成する新しい学部として2021年4月に開設されました。  
学生は福島市栄町地区に新たに整備された福島駅前キャンパスで学びます。  
この学部で養成する4職種にはすべて国家資格が定められています。



もっと詳しく！  
保健科学部のWEBサイトを  
チェック

## MESSAGE 保健科学部が開設2年目をむかえました

保健科学部は、東日本大震災後の医療従事者の流出や健康不安増大の中、平成28年(2016)年1月12日に福島県による保健科学部開設に関する基本構想が発表され、運営依頼を受けた福島県立医科大学がこれを了承し、令和3年(2021)年4月に開設されました。

本学部は、理学療法学科、作業療法学科、診療放射線科学科、臨床検査科学科の4学科で構成され、1学年で145名の学生定員です。福島県立医科大学にとっては3つ目の学部であり、これにより3学部6学科を有する医療系総合大学に進化したことになります。今年度は学部開設から2年目をむかえ、先輩としてお手本となるよう日々奮闘している2年生、また先輩を見て自分もと勉学に励む1年生の姿がキャンパス内で見られるようになりました。

東日本大震災から11年が経過しましたが、福島の復興はいまだ道半ばです。保健科学部でもともに学び、県民の健康を守る面から福島の復興に役立つ立派な医療のプロになってほしいと願っています。



保健科学部長 矢吹 省司

## 医療技術者を目指す4学科

MRIをはじめとする多くの高度な専門機器を利用した効果的な演習・実習を行い、チーム医療を行う中で欠かせない人材を育成します。



理学療法学科



作業療法学科



診療放射線科学科



臨床検査科学科

## 養成する人材像

- ① いのち、健康および生活を守る専門医療技術者として、高い倫理観と知識・技術、コミュニケーション能力を有する人材
- ② 生涯にわたって学修・科学する意欲を持ち続け、人として、専門医療技術者として成長することができる人材
- ③ 福島県の地域医療や災害医療を理解し、それらへの取り組みを能動的に行える人材



# PHYSICAL THERAPY

## 理学療法学科



### 運動機能回復のスペシャリスト

運動療法や物理療法を用いて日常生活に欠かせない基本的動作を改善します。  
福島地域医療に貢献し、さらに理学療法の発展にリーダーシップを発揮する理学療法士を育成します。

### STUDENT'S VOICE

#### 生まれ育った福島県で、医療従事者として活躍するのが目標です。

最先端の医療機器を使用して実践的な技術や知識を学べるのももちろんですが、新しく綺麗な校舎には自習スペースなどが充実しており、学ぶ環境がとても整っています。今は2年次から始まった専門的な教科や、実技面での演習に力を入れて取り組んでいます。同じ目標を持つ仲間ばかりですので、それぞれの夢に向かって切磋琢磨し、互いに成長できることが本学科の魅力だと思います。高校生の方は受験勉強は大変だと思いますが、モチベーションを高めながら頑張ってください。皆さんの入学を心待ちにしています。



秋山 千恵理さん  
(福島県 橘高等学校出身)



<p><b>1年次</b></p> <p>1年次は、教養科目に加え医学やリハビリテーションの基礎を学びます。臨床実習では、1年次に短期間の見学実習があります。</p>	<p><b>2年次</b></p> <p>2年次には、関連する医学の基本に加え、運動療法の基本や、分野別理学療法を講義や演習で学びます。附属病院等での体験導入実習があります。</p>	<p><b>3年次</b></p> <p>3年次には、演習や実習を通じて応用的な理学療法を学びます。3年次からは学外の病院・施設での評価実習・総合実習などを行っています。</p>	<p><b>4年次</b></p> <p>4年次には、それらをさらに発展させた理学療法を学び、卒業研究も行います。学年が進むにつれて、より専門的な内容を学ぶカリキュラムになっています。</p>
---	---	---	--

#### めざせる資格

- 理学療法士(国家資格)

#### 想定される主な就職先

- 医療施設(急性期病院、回復期リハビリテーション病院、療養型病院、診療所)
- 介護老人保健施設
- 地域包括支援センター
- 通所・訪問リハビリテーション事業所
- 教育・研究施設
- スポーツ分野
- 行政関係施設(保健所、市町村保健センター)
- 医療福祉機器企業
- 他

# OCCUPATIONAL THERAPY

## 作業療法学科



### 作業ができるように支援するスペシャリスト

作業療法は、食事や入浴などの日常生活活動、遊びや余暇、仕事や地域活動など、人が営む「作業」を支援し、健康で満足した生活を促進します。作業療法の高度な知識と技術、そして豊かな人間性を備えた次世代の作業療法士のリーダーを育成します。

### STUDENT'S VOICE

#### 不安だった臨床実習も先生方のアドバイスが大きな心の支えに。

1年次は4学科合同のグループ活動や講義があり、自分の学科以外の領域の仕事を具体的に学ぶ機会が多くあります。他学科と交流することで刺激を受けることももちろんですが、現代の医療に大切な「チーム医療」の考え方を学べる良い経験だと思います。また本学科は1年次から4年次まで毎年臨床実習があります。1年次は不安でいっぱいでしたが、実習前に先生方との面談でいただいたアドバイスが大きな心の支えになりました。将来的には作業療法の領域の中でも、発達障害や精神障害領域で活躍することが目標です。



吉田 優介さん  
(福島県 安積黎明高等学校出身)



<p><b>1年次</b></p> <p>1年次は教養科目、医学やリハビリテーションの基礎科目に加え、作業療法学概論や基礎作業学実習などの専門科目を早期から学びます。また臨床実習で臨床場面の見学を通して、作業療法への理解を深めます。</p>	<p><b>2年次</b></p> <p>2年次は作業療法に関連する臨床医学を学ぶとともに、身体障害や精神障害、発達障害及び老年期障害の各領域別作業療法評価学・治療学を学びます。</p>	<p><b>3年次</b></p> <p>3年次は、領域別作業療法学演習や地域作業療法学など、応用的作業療法学について学びます。また関心のある領域について深く学ぶことができるように選択科目を開講しています。</p>	<p><b>4年次</b></p> <p>4年次では作業療法の発展領域や研究について学びます。日々発展する作業療学分野の先端知識を学びつつ、今後の新たな作業療法を創造するための研究力を養います。</p>
--	---	---	---

#### めざせる資格

- 作業療法士(国家資格)

#### 想定される主な就職先

- 医療施設(一般病院、精神科病院、診療所など)
- 介護老人保健施設
- 通所・訪問リハビリテーション事業所
- 児童福祉施設
- 特別支援学校
- 地域包括支援センター
- 市町村保健センター
- 教育・研究施設
- 矯正施設(刑務所など)
- 他



# RADIOLOGICAL SCIENCES

## 診療放射線科学科



### 先端診療機器で患者さんを救う放射線のスペシャリスト

高度な放射線診療機器を活用した診療放射線科学の研究と教授により、的確な診断・治療に資する診療技術を有するとともに放射線の専門家として福島の復興・発展にも寄与できる人材を育成します。

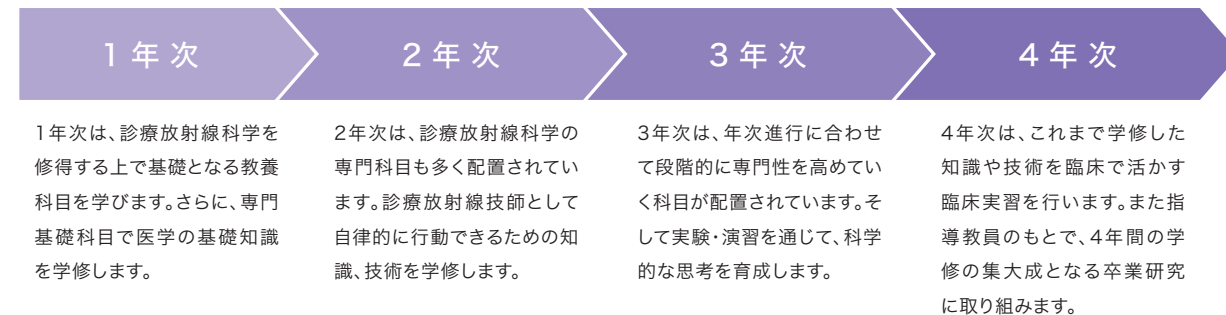
### STUDENT'S VOICE

#### チーム医療を見据えた実践的な学びができる最適な環境です。

本学科の先生方は学生一人ひとりに親身に寄り添ってくれる頼もしい存在です。また先生方の豊富な経験談を聞いて、自らの知識を深めることにつながるという魅力もあります。そして実際の現場でも使用する高度なMRIやCTを用いて実習できるので、より実践的な学びができると思います。保健科学部は充実した実習を通して他学科の人との交流ができるため、互いの知識の共有を大学生のうちから行うことで将来チーム医療を円滑に進めることができるようになります。私自身の目標である診療放射線技師を目指して、仲間と共に日々努力をしています。



岩崎 美伶さん  
(福島県 安積高等学校出身)



#### めざせる資格

- 診療放射線技師(国家資格)
- 第1種放射線取扱主任者(国家資格)
- ガンマ線透過写真撮影作業主任者(国家資格)
- 第1種放射線取扱主任者(国家資格)
- 作業環境測定士(国家資格)

#### 想定される主な就職先

- 医療施設 ●検診施設 ●教育・研究施設 ●保健所 ●官公庁
- 医療・研究機器関連企業・商社 ●医療情報関連企業 ●遠隔医療関連企業 ●非破壊検査関連企業 ●放射線を取り扱う団体や企業 他

# CLINICAL LABORATORY SCIENCES

## 臨床検査学科



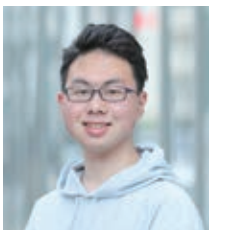
### 診療に必要なデータを計測、分析のスペシャリスト

血液中の成分や化学物質を測定する血液検査や生化学検査、細菌やウイルスを調べる微生物検査、組織や細胞を顕微鏡で見て判定する病理検査、心電図や脳波計で身体の状態を調べる生理学検査を学び、検査のスペシャリストを育成します。

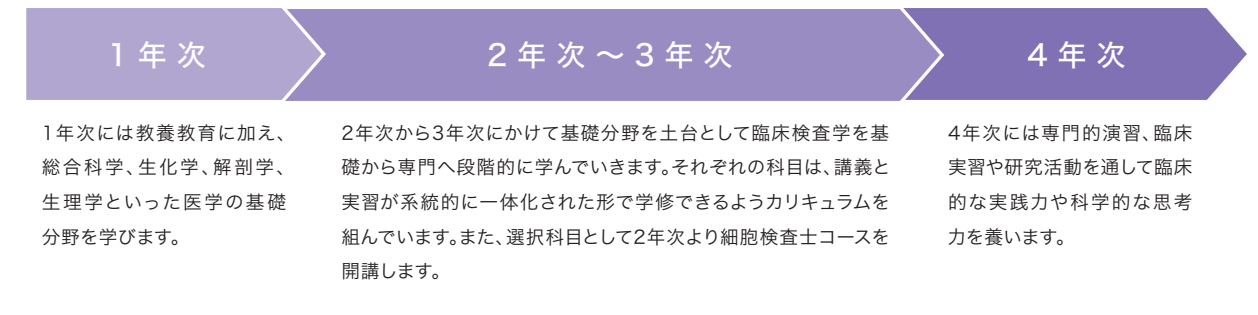
### STUDENT'S VOICE

#### 最高の環境で学び、いつか福島県の地域医療に貢献したい。

新設されたばかりの学部で、最新の設備が揃っていることに魅力を感じ入学しました。周りの仲間もフレンドリーな人が多く、先生方も優しく丁寧に指導してくれる最高の環境だと思います。今は英語の勉強に力を注いでいて、将来的には大学院に進学したのち現場で数年間働いて、最終的には大学で研究職に就くことを目標に頑張っています。そして地元である福島県の地域医療に貢献できたらと思っています。まだ出来たばかりの学部ですので、後輩たちと一緒に伝統や歴史を築いていき、自分自身も成長していきたいと思っています。



吉田 峻真さん  
(福島県 安積高等学校出身)



#### めざせる資格

- 臨床検査技師(国家資格)
- 細胞検査士(民間資格)
- 遺伝子分析化学認定士・初級(民間資格)
- 中級・上級バイオ技術者(民間資格)
- 健康食品管理士(民間資格)
- 食品衛生管理者(任用資格)
- 食品衛生監視員(任用資格)

#### 想定される主な就職先

- 医療施設 ●検査センター ●保健所・衛生研究所 ●科教研 ●検査試薬関連企業 ●製薬関連企業 ●医療機器関連企業 ●食品関連企業 ●治験コーディネーター ●医学関連の出版社 他



# GRADUATE SCHOOL

## 大学院

研究者及び専門職として、  
地域の発展に尽力する人材を目指して。

大学院では、医学・看護学の発展に寄与できる研究者及び専門職を  
育成するとともに、新しい医学・看護学の創造を目的としています。

医学専攻（博士課程）、医科学専攻（修士課程）、災害・被ばく医療科学共同専攻（修士課程）の

3つの専攻からなる医学研究科に加え、

看護学専攻（博士前期課程及び博士後期課程）で構成される看護学研究科があり、

実践を通して地域の発展に尽力できる人材を育成します。



もっと詳しく！  
大学院のWEBサイトを  
チェック

## 大学院の概要

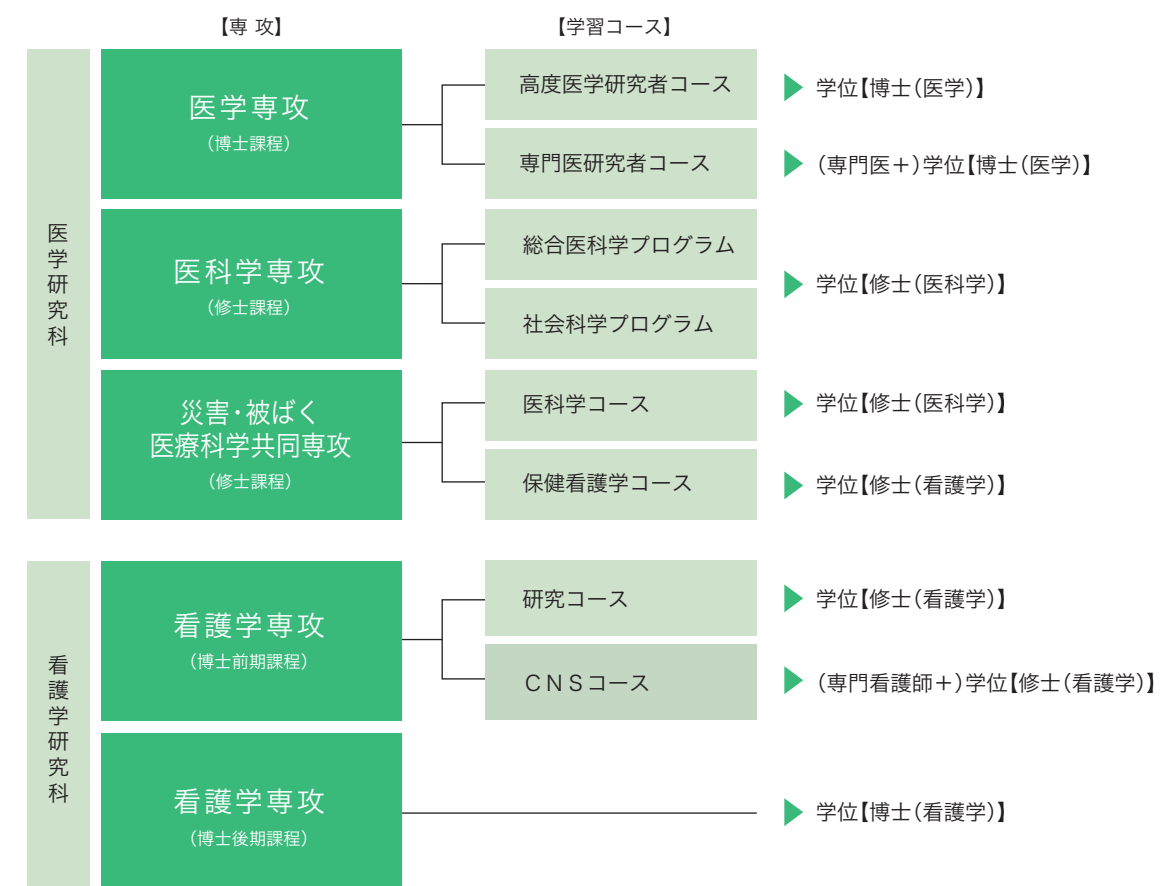
本学大学院は、医療の発展に自立して寄与することができる研究者及び専門職員を  
育成するとともに、新しい医学・看護学の創造を行うことを目的とします。

医学研究科では、研究者を育成する「医学専攻」（博士課程）と、医学以外の専門分野  
を学んだ学部卒業生を対象とする「医科学専攻」（修士課程）、看護師・自治体職員など  
の社会人を対象とする「災害・被ばく医療科学共同専攻」（修士課程）を設けています。

看護学研究科博士前期課程では、看護援助方法の開発と研究を担う看護専門職や  
高度な専門知識・技術と卓越した実践能力をもつ看護専門職（専門看護師）を育成しま  
す。また博士後期課程では研究者・教育者、看護実践指導者として活躍する人材の育成  
を目指しています。



## 大学院の構成





# GRADUATE SCHOOL of MEDICINE

## 医学研究科



### 教育目標

- 1 医学研究を推し進めた新たな医学の創造を目指す研究者を育成する。
- 2 研究の方法論を正しく身につけた専門性の高い臨床医を育成する。
- 3 医学・医療に関連した多彩な分野で活躍できる研究者や高度な専門職として活躍する人材を育成する。

### 医学専攻

(博士課程)  
修業年数4年

本専攻では、医学部を卒業した学生を中心とし、医学部以外からの学生にも広く門戸を開放して医学を究めることを目的とすることから、専攻の名称を「医学専攻」(Graduate School of Medicine)とし、学位に付与する専攻分野も「医学」とします。

本博士課程に入学する学生は、入学時点で、高度医学研究者コースと専門医研究者コースのいずれかを選択します。前者のコースは、医学研究者になることを目標とし、将来の医学を支え、新たな医学の創造ができるような人材の育成を目的とします。後者のコースでは、卒業臨床研修を終え、専門医研修を受ける学生を主な対象として、高度で専門的な臨床能力と、医療の現場から研究する能力を兼ね備えた臨床医を育成することを目的とし、そのために必要な科目を整備しています。

医学専攻の教育課程の特徴は  
WEBサイトをチェック



### 医科学専攻

(修士課程)  
修業年数2年

本専攻では、医学以外を専攻した多様な知識的背景や発想を持つ人々に、集中的に医科学を教授し、学際的な知識を統合させることによって、医学・医療に関連した多彩な分野で活躍できる研究者、技術者や専門職として活躍できる人材の育成を目指します。

修士課程修了後には、博士課程(4年制、優れた研究業績をあげた者については3年間で修了可能)へ進学し、さらに、高いレベルの専門的知識や研究方法を修学し、研究者としてのレベルを向上することを推奨しています。

医科学専攻の教育課程の特徴は  
WEBサイトをチェック



### 災害・被ばく 医療科学 共同専攻

(修士課程)  
修業年数2年

2011年3月の東日本大震災・津波とそれに引き続く東京電力福島第一原子力発電所事故のような未曾有の複合型広域災害を契機に、緊急時から復興期において長期的にわたって健康被害に適切に対応できる人材が絶対的に不足していることが明らかになりました。

こうした状況を踏まえ、平成28年度から長崎大学と共同で「災害・被ばく医療科学共同専攻」を設置しました。本専攻は、看護師・自治体職員などの社会人を主な対象とした2つのコースを設け、災害・被ばく医療科学分野全般を俯瞰できる幅広い知識の習得により、災害時に活躍できる素養を持った専門家や長期にわたって健康被害に適切に対応できる人材の育成を目指します。

災害・被ばく医療科学共同専攻の  
教育課程の特徴はWEBサイトをチェック



# GRADUATE SCHOOL of NURSING

## 看護学研究科



### 教育目標

#### 〈博士前期課程〉

- 1 高度な専門知識・技術と卓越した実践能力を持つ看護専門職者を育成する。
- 2 看護援助方法論の開発と研究を担う人材を育成する。
- 3 看護職のキャリア開発プログラムを構築できる人材を育成する。

#### 〈博士後期課程〉

- 1 看護系大学等の教育・研究機関において、複雑多様な人々のニーズに応えるケアやケアシステム開発の方法論を考究し、その体系化と発展に寄与する研究を自立して行い、その研究成果を看護実践に還元できる研究者で、その研究成果や研究指導力を以って質の高い看護学教育を展開できる看護教育・研究者を育成する。
- 2 病院や施設等の看護実践の場で、研究活動を自立して行うとともに、組織における研究活動や看護系大学等教育・研究機関との共同研究を推進し、その成果を看護実践に還元することを牽引できる指導者(看護実践指導者)を育成する。

### 看護学専攻

(博士前期課程)  
修業年数2年

#### 研究コース

「がん看護学」「成人看護学」「老年看護学」「精神看護学」「母性看護学」「小児看護学」「地域看護学」の7つのコースからなります。共通必修科目、看護専門科目、共通選択専門科目の履修に加えて「看護特別研究」が課されます。

#### CNSコース

「がん看護専門看護師」「精神看護専門看護師」「小児看護専門看護師」の3つの専門看護師コースを設け、「日本看護系大学協議会専門看護師教育課程」の認定を受けています。共通必修科目、看護専門科目、共通選択専門科目の履修に加えて「看護課題研究」が課されます。



### 看護学専攻

(博士後期課程)  
修業年数3年

#### 実践開発看護学

「実践開発看護学」とは、人々のニーズに応える新規性の高い独創的なケアと、それらを適時適切に人々に届けるケアシステムを創造し、その有効性を検証し、応用・発展させる方法論について教育・研究することを目的とする看護学です。複雑化・多様化する健康問題の解決に資する独創的で質の高い看護実践を開発するとともに、住み慣れた地域で生活したいと願う住民や保健医療福祉資源の偏在を抱える地域の健康問題解決をめざし、多職種連携も含む継続した看護実践のシステム形成を図る能力の修得を目指します。

#### 博士後期課程での研究活動の流れ 実践開発看護学特別研究(1~3年、博士論文科目)

1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> <li>・科目履修</li> <li>・文献検討</li> <li>・フィールドワーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別研究セミナー①</li> <li>・研究計画書作成、審査</li> <li>・倫理審査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データ収集</li> <li>・特別研究セミナー②</li> <li>・副論文作成、投稿</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・データ分析、論文執筆</li> <li>・特別研究セミナー③</li> <li>・予備審査</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本審査</li> <li>・成果発表会</li> <li>・学位授与</li> </ul>



# CMEICD MISSION

## MISSION

- 医療人育成に向けて -

### 医療人育成・支援センター

Center for Medical Education and Career Development

#### 医学教育部門



医学教育部門は、時代のニーズを踏まえた上で、医学部生が6年間で十分な知識と基本的技能、プロフェッショナルとしての姿勢を身に付けることができるように、環境整備と教育支援を行っています。特に、現状の課題を抽出してそれに対する施策を立案実践すること、講座・ユニットごとに行われる授業を有機的に結び付けることを、第一の使命と位置づけています。

##### ■教育プログラム支援

臨床実習前/後OSCE、BSL改革、各科横断的授業の企画と実践

##### ■環境整備

スキルラボ、模擬患者養成、IT活用の拡大

##### ■教員への情報提供と支援

faculty development / workshop開催、アクティブラーニング授業の導入と支援、学部合同授業企画支援

##### ■学習支援

早期ポリクリ・地域実習・コミュニケーション論等の初年次教育、臨床実習前の診療技術指導、英語による医療面接、Team-based Learningによる症候論授業

##### ■高等学校等への広報

出前講義、学校見学対応等

#### 看護学教育研修部門



平成26年(2014)年から、看護学教育研修部門が設けられています。この部門では、地域医療を担う看護師等の資質向上、同様に看護師等の確保支援、そして、高等学校等の広報活動・看護学への動機づけ支援を行っています。

具体的には、地域医療を担う看護師等の資質向上の支援として、大学附属病院看護職、県内で働く看護職を対象とした研修、地域医療を担う看護師等の確保支援としての就職ガイダンス、高等学校等の広報活動・看護学への動機づけ支援としての出前講座や学校見学等を行っています。

これらにより、看護学への関心を高めるとともに看護学を学ぶことの動機づけを行い、将来の仕事としての看護職をイメージし、入学前から卒業後も継続して、生涯にわたり専門職として学ぶことができる環境整備に取り組んでいます。

##### ■主な事業

- 看護職等の資質向上のための研修
- 就職ガイダンス
- 学校見学
- 出前講座

#### MESSAGE

##### 医療人としての成長をシームレスに支援

医療人育成・支援センターは、2008年4月、卒前医学教育と卒後臨床研修を一貫して支援する組織として、医学教育部門と臨床医学教育研修部門が設立されました。その後、看護学教育研修部門と災害医療総合学習センターを加え、2020年からは医療手技教育研修開発センター、さらに2021年からは、保健科学部の開講に伴い、保健科学教育研修部門を加えた6部門が置かれ、それぞれ各部門が担う役割を果たし、学部教育・卒後教育の充実をはかり、よき医療人の育成を目指して取り組んでいます。

当センターは、設立10年が過ぎ、その時々々の要求に柔軟に対応し、活動内容が変化してきました。今後は、3学部6学科の医療系総合大学の教育に関する中心となることを期待されています。具体的には、本学における新たな教育システム導入の推進役と3学部の横の連携の要となることです。当センターは、本学の3学部の横断的な教育組織として、総合科学、生命科学、災害医療学、社会学、臨床医学、看護学、理学療法学、作業療法学、診療放射線科学、臨床検査学について、学部の枠を越え、学生からそれぞれの卒業後の医療人としての成長をシームレスに支援していきます。また、災害医療総合学習センターと医療手技教育研修開発センターは、従来の枠組みを越えた新たな教育の拠点と期待されています。

今後も当センターにご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

医療人育成・支援センター センター長 大谷 晃司



#### 災害医療総合学習センター



##### 福島でしかできない実践的な教育

災害医療総合学習センターは、災害医療や放射線被ばく医療の知識や技術を持ち、それを実践できるエキスパート(医師・看護師等)を育てるための教育と、その研修体制確立を主な役割としています。

#### 医療手技教育研修開発センター

献体遺体を用いた手術手技研修(CST: Cadaver Surgical Training)の普及・発展のため、令和2年度に設置されました。今後は、医療手技の向上に向けた環境整備を行っていきます。

令和2年4月には「医療手技教育研修開発センター」が設置され、今後、実践的な医療手技の向上に寄与していくことが期待されています。

#### 保健科学教育研修部門

令和3年度から、保健科学教育研修部門がスタートしました。

保健科学教育研修部門は、4学科(理学療法学科、作業療法学科、診療放射線科学科、臨床検査学科)の保健科学部生が4年間で、専門医療従事者としての高い倫理観と知識・技術、コミュニケーション能力を身に付けることができるように環境整備と教育支援を行っています。

#### 臨床医学教育研修部門



臨床医学教育研修部門は、卒後教育の充実を主な役割として、下記事業を通して、地域医療に必要な知識・技術の習得・向上のため、臨床研修医や指導医等の人材育成を支援しています。

特に、卒後臨床研修の充実により、県内臨床研修医採用数を増加させることは、県内の医師確保につながることから、福島で日本トップクラスの臨床研修を提供し、第一線で働く医師を育てるため、県内19臨床研修病院をネットワーク化し、福島医大だけでなく県全体の臨床研修内容のレベルアップにも努めています。

平成30年度の4年生から始まった臨床実習(BSL)の72週化にあわせ、BSLの内容の改善や評価のIT化を担っています。センター創立10年が過ぎ、卒後臨床教育を見据え、学部の臨床教育へ活動範囲が広がってきています。

さらに新専門医制度による後期研修支援を行っています。

県内各病院での学部教育・卒後臨床研修に関する講習会や臨床研修指導医養成講習会の開催などを通じて、大学の枠を越え、福島県全体の臨床医学教育の向上も目指しています。

##### ■主な事業

- 臨床実習(BSL)改革の推進
- 卒後臨床研修・後期研修の充実
- 医療・福祉・地域体験プログラムの提供
- 各種講習会・セミナー開催による医師生涯教育の支援
- 福島県臨床研修病院ネットワークの統括
- 福島県地域医療支援センターとの共同事業



## 医学教育部門

### クリニカル・スキルズ・ラボラトリー (スキルラボ)

「知っていること(know how)は、やって見られること(show how)を意味しない」との考えに基づき、臨床手技の訓練施設「スキルラボ」を整備しています。

#### ■スキルラボとは？

スキルラボの略称で親しまれているクリニカル・スキルズ・ラボラトリーは、医療人が診療技能を修得するための施設です。患者さんの苦痛や羞恥心を伴う医療手技を、現場を模した環境でモデルやシミュレータを用いて練習できます。失敗を恐れず何度でも練習できるため、医学生、看護学生、研修医、病院スタッフが活発に利用しています。

本学のスキルラボは、平成21年4月27日にオープンしました。現在、スキルラボは、きぼう棟4階西、アドバンス(4号館5階)、ベーシック(8号館2階)、手術室の4カ所に設置されています。

#### ■スキルラボ・きぼう棟



平成28年度まで主に医学部生と研修医が利用していたスキルラボ・アドバンスのシミュレータを、きぼう棟4階西に移動しました。

これにより、臨床手技の練習を臨床現場の近くで行えるようになりました。更に、これまで使用予約に応じて毎回出し入れしていたシミュレータが目的ごとの部屋に常設されているので、事前申込の上、スキルラボに行けばいつでも気軽に使えるようになりました。

#### ■スキルラボ・アドバンス

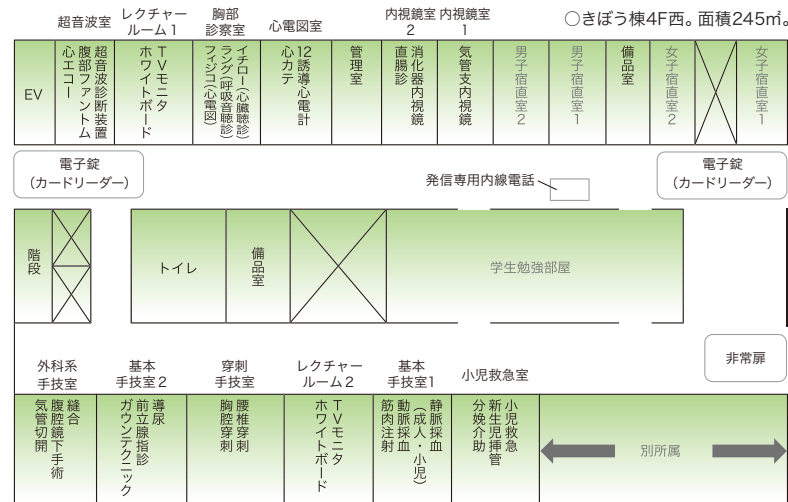
医療面接・診察撮影装置と広いオープンスペースを利用して、2週間毎に、医学部4～5年生が模擬患者さんとの医療面接実習を行っています。それ以外の日には、オープンスペースは学内外の方々を対象とした様々な講習会会場や4年生の臨床実習前OSCEの練習会場としても利用されます。

○4号館(医学部総合科学系研究棟)5階。面積 310㎡。

#### ■スキルラボの利用状況

スキルラボが開設された平成21年度には学内外へのPR企画(臨床手技の講習会、オープンキャンパスでのイベント、FDでのシミュレータ・デモンストレーションなど)が多数行われ、初年度として3,800名の利用がありました。スキルラボ利用者協議会が設けられ、シミュレーション教育の授業活用が進み、施設利用は順調に伸び、令和3年度は延べ9,000名を超える利用がありました。

現在、医学部臨床実習では、4～6年次全科必修プライマリーコース64週と6年次選択科アドバンスコース8週で行われており、「心臓・肺の聴診」「腰椎穿刺」「前立腺指診」「小児のBLS」「気管切開」「心臓・腹部の超音波」「採血手技」など、20診療科35手技のシミュレーション教育プログラムが実施されています。



#### ■スキルラボ・ベーシック

ベッドサイドでの患者の診察・処置・ケアが大人数で学習できるようにレイアウトされた学習スペースで、主に看護学生や新人ナースなどがフィジカルアセスメントや採血手技を学習しています。

○8号館(看護学部棟)2階。面積 480㎡。



#### ■スキルラボ・手術室

全身麻酔に伴う呼吸・循環の変化、急変対応を高性能シミュレータで学習するスペース。

○附属病院2階麻酔科外来の回復室に設定。面積 約12㎡。

詳しくはWEBサイトをチェック



## 看護学教育研修部門

### ■資質向上のための研修



令和3年度は、地域医療を担う看護師等の資質向上の一翼を担うために2回の研修会を開催しました。この2回の研修会は、内容に応じて大学附属病院で働く看護職だけではなく、県内の医療機関等で働く看護職等に研修会への参加を呼びかけておりますが、感染症の流行のため2回とも遠隔操作を用いて行いました。その結果、第1回研修会の参加者は12人、第2回研修会の参加者が18人でした。それぞれの研修会の詳細は、以下のとおりです。

#### ■第1回研修会

##### ■研修会の主旨

今日、日本社会から専門職として認められている看護職は、社会状況に合わせた看護技術の向上が期待されているため、常に、個人の責任として継続学習による能力の開発・維持・向上に努めることが重要である。そこで、第1回目は、看護系大学院で学び、現在看護部長や専門看護師として活躍している講師を招き、研修会を開催する(Web開催)。

■テーマ 将来、看護師としてなりたい自分になるヒント

■日時 2021年12月23日(木) 17:30～19:00

■対象 大学附属病院の看護職および関心のある全教職員・大学院生・学生、会津医療センターの医療職、竹田総合病院の医療職

■内容 講演および交流会

■講師 今泉純子氏、RN、MS  
(竹田総合病院/認定看護管理者/看護部長)  
柏木久美子氏、RN、PHN、CNS、MS  
(会津医療センター-会津在宅医療センター)

#### ■第2回研修会

##### ■研修会の主旨

現在、日本では、がん対策として、いつでもどこでも安心かつ納得できる医療や支援を受けることができるよう目標を設定した施策を推進している。そのため、病棟・外来・在宅療養の場において、がん患者さんの治療や療養支援に関わる看護職には、その質の向上が期待されている。そこで、第2回目は、がん患者さんの口腔ケアに関する知識と技術の向上に役立ててもらうため、日頃から、がん患者さんの治療にがん看護専門看護師(CNS)および歯科衛生士として参加している二人の専門家を招き、研修会を開催する(Web開催)。

■テーマ がん患者さんの口腔ケア

■日時 2022年3月16日(水) 17:30～19:00

■対象 大学附属病院の看護職および関心のある全教職員・大学院生・学生、福島県内病院の医療職、福島県内歯科衛生士専門学校の教職員・学生

■内容 講演と交流会

- (1)口腔ケアの効果(衛生状態の判定に関する研究から言えること)  
三浦浅子氏 がん看護専門看護師(福島県立医科大学 看護学部)  
(2)ブラッシングを再考する  
遠藤裕子氏 歯科衛生士(福島県立医科大学附属病院歯科口腔外科)

#### ■就職ガイダンス等

看護学部生を対象に、県内の医療機関等を対象とした就職ガイダンスを実施しています。



令和3年度は、県内の主要な医療機関等が参加した就職ガイダンスをZoomを活用したオンラインにより実施し、学生が今後の自分の将来像について考える契機となる事業を実施しました。

就職ガイダンスは、単に就職を目的とするだけでなく、県内医療機関の現状を知るための機会と位置付けております。

#### ■令和3年度 就職ガイダンス

月日	内容	参加対象
2月3日 2月4日	就職ガイダンス ・県内の主要な医療機関等 民間病院等13機関、ほか県立病院 相双地区2町村 ・本学附属病院、会津医療センター附属病院 ・保健師(県庁)	本学 看護学部 3年次生

## MESSAGE

看護学の知識と技術を統合し、主体的に活動する看護専門職を育成・支援します。

近年は災害が日本各地で発生する、感染症による広い地域での健康危機が生じるなど、複雑な社会状況にあります。このような状況下では、看護学の知識と技術を研鑽し、それを統合し、社会の要請に応える主体的な看護活動が求められます。

現在、看護職は医療を始め福祉、保健、教育などの幅広い分野で活動していますが、さらにそれぞれの活動分野の質を高める必要があります。この看護学教育研修部門では、看護の魅力発信して看護職の確保を支援し、地域医療に貢献する質の高い看護職の育成と支援を目指しています。



医療人育成・支援センター 看護学教育研修部門長 高瀬 佳苗



## 災害医療総合学習センター

災害医療総合学習センター(Education Center for Disaster Medicine)は、東日本大震災及び原子力災害により被害を受けた県内医療体制の再生や放射線の影響等に係る教育、研修体制の充実、人材確保を図るため平成24年5月に福島県立医科大学医療人育成・支援センター内に設置されました。当センターでは、災害医療に関する知識や技能の習得にとどまらず、今後福島で長く続く放射線災害と向き合っていく医療人の育成も行っています。

### 教育

#### BSL(臨床実習)

本学医学部5年生に対する臨床実習(BSL)において、放射線被ばく医療の基礎知識のほか、患者対応や生活における放射線リスクの相場観習得を目標に講義・実習を行っています。福島第一原発事故後に我々が直面した放射線に関する課題を、臨床実習における模擬患者演習へ応用し、震災後の放射線問題をより身近に、そして主体的に考えて頂けるよう留意しています。



### 地域貢献

#### 福島災害医療セミナー

本学及び県内の協力機関における講義・実習等を通じ、災害医療・放射線被ばく医療の知識及び技術を備え、災害時に活躍できる医師・看護師等の育成を行っています。また、放射線に関する不安を抱える人々から相談を受けることの多い医療関係者、行政関係者の皆様に対して放射線に関する最新の知識・情報を提供することも併せて本セミナーの目的としています。



## MESSAGE

災害復興の最前線で活躍できるエキスパートの教育・研修体制を確立するために当センターは全力を尽くします。

本センターは、災害医療・放射線被ばく医療の最前線で実践的に対応できるエキスパート育成のための教育・研修体制を確立することを目指しています。本学の学生、県内の医師・看護師・保健師はもちろん、全国から災害医療・放射線被ばく医療を学びたいと希望するあらゆる地域や職種の皆様をセミナーに受け入れております。また、チヨルノービリ原子力発電所事故の被災者の支援を続けているベラルーシ医科大学、ゴメリ医科大学とも協定を結び、医療関係者・大学関係者を受け入れております。(2022年5月現在休止中)

本学は国の高度被ばく医療支援センター、原子力災害医療・総合支援センターに指定されており、災害・被ばく医療科学共同大学院が設置され、放射線災害に関連する教育の取組は益々重要な教育基盤となっております。福島事故の経験と反省をもとにした我々の活動が震災復興の一助となり、育った人達が災害医療の優れた担い手となることを願っています。



災害医療総合学習センター センター長 長谷川 有史

## 臨床医学教育研修部門

### 臨床研修の概要

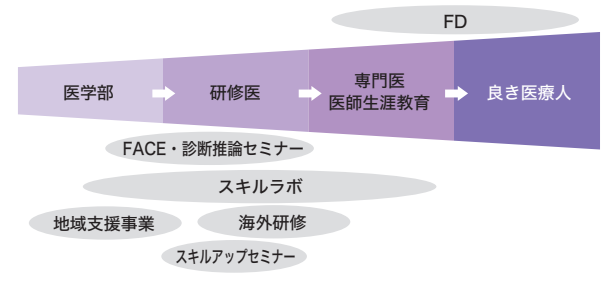
#### 次世代の担い手となる、良き医療人を育成するために ～充実した臨床研修と教育支援体制～

福島県立医科大学附属病院では、豊かな知識と確かな医療技術を身につけ、患者さんへの温かなまなざしを持った医師を養成すべく、全国から多くの研修医を受け入れています。平成16年度からの医師卒後臨床研修制度必修後においては「EBM(Evidence-Based Medicine)に基づいた基本に忠実な研修」を、一般病院等では「救急医療やcommon disease」を学ぶことができるようにするなど魅力的な研修体制を構築しています。平成30年度からスタートした新専門医制度(※)にも対応しており、卒後5～7年間の専門医取得までの一貫した研修体制も整備しました。

「医療人育成・支援センター」は、医療人として社会で活躍する人材を養成し、トータルに支援する機関として、卒前教育から卒後臨床研修、医師としての生涯教育に至るまで様々な取組を行い、「良き医療人」を育てています。(右図参照)

臨床医学教育研修部門は、優れた医師としての基礎を築くために附属病院臨床医学教育研修センターと共に最適な研修プログラムの充実に努め、研修医が有意義な研修生活を送ることができるよう支援しています。

※新制度における専門研修プログラムの運用は、各診療科(プログラム)となります。



#### 臨床研修医の全体像

	初期研修	後期研修 (専門研修プログラム)	助手
病院での身分	臨床研修医	専攻医	病院助手
大学との関係	大学院生(併願可) 大学院研究生(併願不可)	大学院研究生(併願可)	
	1年目   2年目	3年目   4年目   5年目   6年目   7年目   8年目	9年目以降

医学博士号取得

### 卒後臨床研修(初期研修)の特徴

- 柔軟性をもったプログラム**  
研修医のニーズに柔軟に対応するため、4つのプログラムとすべての診療科から1ヶ月単位で自由に選択でき、さまざまな診療科を院内外で研修できます。
- 充実した病院群**  
100を超える地域の臨床研修病院・施設と連携し、大学病院においては「EBM(Evidence-Based Medicine)に基づいた研修」を、協力病院等では「救急医療やcommon diseaseを経験できる研修」を受けることができます。
- プライマリ・ケア研修の充実**  
総合診療センターでの研修を必修とした他、内科指導医による地域病院・診療所での外来研修等、第一線のプライマリ研修も行っています。
- 卒後臨床研修・専門研修の一貫した研修体制**  
将来の専門医取得まで見据えた卒後臨床研修2年間、後期研修(専門研修)3～5年間の一貫した研修を受けることができます。
- メンター(相談員)制度**  
各プログラムともメンター制度を導入し、2年間の研修をトータルに支援します。メンターは自由に選択でき、変更も可能です。
- 社会的身分の保障等**  
協力病院で研修する場合でも、研修医は当院の職員としての身分で派遣されるため、給与や社会保険等の一貫した保障が受けられます。  
※ただし、プログラムB及びプログラムCの派遣時は、協力病院の身分等となります。

### 後期研修(専門研修プログラム)の特徴 研修期間3～5年

- 希望する専門医が効率的に取得できるよう、基本領域の各プログラム責任者等が研修プログラムや研修計画策定の支援やプログラムの進捗管理により、最適な研修を行うことができます。
- 当院では、全ての基本領域において、基幹施設となっておりますが、研修協力病院と密に連携して研修を行うため、専門医資格取得に必要な症例、症状等を豊富に経験することが可能です。
- 専攻医は大学院、大学院研究生の併願が可能のため、安定した身分・処遇で働きながら大学院教育を受けることが出来、充実した専門医研修が行えます。

詳しくはWEBサイトをチェック





# RESEARCH STORIES

情熱の最前線へ。

福島県立医科大学では、高度な医療人の集う日本  
トップレベルの臨床研究・治験拠点となり最先端の医療を  
県民に提供するとともに、福島県全体の医療水準を向上  
させる臨床研究・治験ネットワークの中核拠点を目指し  
ています。医療人としての使命と情熱から生まれた独創  
的な研究成果は、医療の明日に大きく貢献しています。



福島県立医科大学の研究成果をCHECK!



FUKUSHIMA MEDICAL UNIV.

VOL.01

# VOICE

特集 クロストーク

一度、話して  
みたかった!

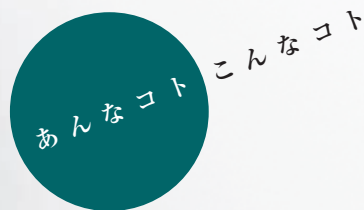
CAMPUS  
LIFE  
2022



FREE PAPER



# 一度、話してみたら良かった!



3学部6学科に進化した福島県立医科大学。  
その医療系総合大学の一翼を担う、  
各学部の1年生による特別対談を掲載。  
学部の垣根を超えて大学の魅力を語り尽くします!

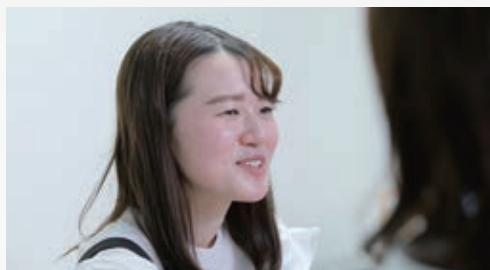
## ワタシが福島県立医科大学を選んだ理由

**緑川:** 私は福島出身だから地元でいいけど、みんなはどうして福島県立医科大学を選んだの?

**布川:** 僕は医師不足を補うために地域が連携していて、ハイレベルな地域医療の経験が積めると思ったから、出身の大阪からは遠かったけど志望したよ。あとは学生へのサポートが充実していることも、決め手の一つだったかな。

**樋口:** 私は新潟出身だから地元ではないけど、授業の中で地域の方と交流しながら学べるところに魅力を感じたよ。福島についても学べるし。緑川さんは?

**緑川:** 私はやっぱり地元だから、福島の地域医療について学びたくて。看護学部でも地域をまわる実習があるから、高水準な地域医療について学ぶのにはぴったりの大学だと思ったんだよね。



保健科学部  
作業療法学科 1年  
樋口 みなとさん  
MINATO HIGUCHI  
(新潟県 津南中等教育学校出身)



看護学部 1年  
緑川 美月さん  
MIZUKI MIDORIKAWA  
(福島県 修明高等学校出身)



医学部 1年  
布川 遼河さん  
RYOUGA FUKAWA  
(大阪府 帝塚山学院東ヶ丘高等学校出身)

## 地域医療が

**布川:** やっぱりみんな“地域医療”ってところがキーワードになっているんだね。それで、実際入学してみてどう?

**緑川:** 教授が想像していたよりもずっと優しい!大学の授業って一方的にハイスピードで進むのかと思っていたけど、「どんだん質問してね!」とか、学生のことを気遣ってくれているって感じで。学びやすい環境だなって思ったよ。

**樋口:** 保健科学部の先生も熱心な方が多いし、距離も近くて気軽に会話できる感じ。外部から来る講師の先生の専門的な授業もすごくおもしろいよ。

**布川:** たしかに、医学部も教授との距離が近くなって感じる。あと医学部は学校と病院の距離も近いから、学校だと思っていたらいつの間にか患者さんがいっぱいいる病院入っててびっくりしたかな。

## 実際、気になるのは各学部の雰囲気

**樋口:** 保健科学部は駅のすぐ近くだからアクセス良好!空きコマがあったら「ちょっとごはん食べに行かない?」っていろんなところに行っちゃおう!

**緑川:** それ、うらやましい〜!保健科学部の子たち、みんな仲良いんだね!

**樋口:** 私は保健科学部の作業療法学科で、学科内の友達も福島出身の子が多いけど、全然出身地関係なく仲良いよー!「地元案内するから今度遊びに来てよ!」とか、そ

## 私たちの合言葉!



んな会話もしている。あとは4学科合同でチーム医療を学ぶ授業が多いから、学科も関係なくフレンドリーに話している。みんな“個性豊か”って感じ!

**布川:** 医学部はけっこう県外出身者も多いかな。僕も大阪だから、福島に来て思ったのがやさしい人が多いってこと。分らないことがあったら教えてくれるし、学生にいい人の割合が多い!あと「みんなで集まってサッカーしよう!」とか、元気が多い印象。大学の印象を一言で表すと、“活気”とか“元気”って言葉が思い浮かぶ感じで。もっとしんみり静かに大学生活が過ぎ去ると思っていたから、良い意味でギャップがあったかな。

**緑川:** たしかに看護学部も、想像していたよりもみんな元気だし仲良い!最初数日間はリモート授業で、そのあと対面授業が始まったけど、みんなすぐにまわりと打ち解けて

いたな一。

**布川:** でも他学部との交流はまだほとんどないよね。同じキャンパスだけど看護学部の学生とは全然会わない。

**緑川:** 私は大学の寮に入っているから他学部の学生とも会うけど、大学ではほとんど交流する機会がないな。

**樋口:** 私も保健科学部だけキャンパスが離れているから、なおさら他学部の学生とは会わない。でも、もっと実習とかが増えてきたら交流が増えるのかな?

**布川:** そうだね。あとコロナでサークル活動が制限されていたっていうのもあるかも。他学部の学生や先輩と交流したくても機会がなかったし、コロナだから仕方ないとは思っていたけど、ちょっと残念だったな。





よかった！  
ほんと、  
福島県立医科大学で



コロナ禍で始まったキャンパスライフ

**緑川:** コロナと言えば、健康ダイアリー！体温とか体調とか、前日に行ったところとか、決められた時間までに送信しないと問答無用で帰らせられちゃう！慣れるまで大変だったな…。

**布川:** あ〜…たしかに。

**樋口:** 私は入学後のオリエンテーションがリモートだったのがしんどかった。大学内のパソコンのネットワークとか仕組みを教えてください、一人でやっているのと分からないことが多すぎて！まだ友達もいないのに、どうやってこれを乗り越えよう…って思ったよ…。

**布川:** たしかに、コロナ禍で始まった大学生活は大変だったよね。でも僕は入学して一番大変だと思ったのは、やっぱり高校との違いかな。実験や実習も多いし。あと高校では一つの問いに対してははっきりとした一つの答えがあったけど、大学では明確な答えがないものもあって、自分なりの答えを導き出さないといけないことが多い気がする。

**樋口:** たしかにそうだね。高校では先生に教えてもらって学ぶことができたけど、大学では実験や実習での学びに加えて、なぜそうなるのかをレポートに書いて自分で考えを深める課題が多いかもしれない。

**緑川:** 私は授業自体がけっこう難しいなって印象。高校の頃は問題を解けば理解できる、納得できるものが多かったけど、大学の授業は格段に難しくなった。復習が大変って思いでいっぱいだよ…。

**布川:** でも授業は難しいけど楽しいよね！医学部では看護師さんによる体位変換の授業があるんだ。寝ている患者さんを横向きにしたりする実習で、学生同士でやるんだけど、役でも患者さんに何かするっていうのは初めての経験だったからとても印象に残っている。

**緑川:** 私は人体解剖生理学が印象に残っているかな。体についてこんなにも詳しく学ぶのは初めてで、どれも新鮮で楽しい！あとは看護学の基本も、臨床の事例を交えながら、その時の患者さんや看護師さんの気持ちになって話し合うから、学んでいてとても楽しいよ。

**樋口:** 私は基本作業学実習が好き。実際に作品をつくりながら、作業工程の分析や作業が及ぼす効果について学ぶんだけど、当たり前に行っていることが実は複雑な作業の組み合わせで行われていることが分かっておもしろいの。実習の授業は楽しいけど、その後大量のレポートがあるんだよね…。

**布川:** そうだね…。

**緑川:** 大変なことはたくさんあるけど、やっぱり福島の地域医療や災害医療が豊富に学べるっていうのは魅力的じゃない？福島のこれからの医療を担う人材を育てる“福島の希望”の場所で、学んでいるんだなって感じるもん。

高校時代の勉強法をこっそり大公開

**樋口:** そうだね。やっぱりここに入學して良かったなって思う。受験の時は成績が伸び悩んだり、友達の進路がどんどん決まっていったり、メンタル的につらい時もあったけど、適度に息抜きしながら最後まで頑張った良かったな！私は少し先にご褒美を用意して、そのために頑張ろう！って勉強していたけど、みんなはどうだった？

**緑川:** 私は先生たちが毎日英語のプリントを添削してくれたり、夜遅くまで面接の練習に付き合ってくれたり、親身になってくれたの。受験前日は緊張で眠れなかったけど、自分のやってきたことを信じて、先生たちのことも信じて頑張ったな。あと睡眠は大事！受験前日はなかなか寝られなくて何度も起きちゃったけど、先生から「普段睡眠をきちんと取ってれば、1日くらい寝られなくても大丈夫！」って言われていて、本当にその通りだったよ！

**布川:** 受験前日の夜寝られないっていうのは受験生あるあるだね。たしかに普段の睡眠は大事。あとは、受験が近づくと「あれもやろう！これもやろう！」って急に装備付けがちだけど、知っていることを再確認することに時間を割いた方が良いと思う。僕はそれで「できる！」って自信につながったしね。

今はまだ夢の途中。動き出すミライ

**樋口:** みんないろんな勉強法をやってきたんだね。ところでふたりは医師と看護師を目指しているんだよね？

**布川:** そうだね。僕は特に救命医を目指している。父が救命医で、人のために働いている父を見てかっこいいと思っていたし、ドラマの影響も大きい。大学で知識と技術をしっかり習得して、多くの患者さんを救いたいと思っているよ。

**緑川:** 私も実は母が看護師で、小さい頃から医療職に憧れていたの。病院にボランティアに行ったり、地域の地域医療を担っている看護師さんからたくさん話を聞いたりして、看護師を目指そうと思ったんだ。将来どんな看護師になりたいかはまだフワッとしているけど、看護師を目指すきっかけにもなった地域の看護師さんのように、福島の地域医療を担える人材になりたいな。

**樋口:** 私もまだどういこうどこで働きたいとか具体的なことは決めていないけど、作業療法士を目指している。作業療法士は病院だけでなく保育園や小学校、保健センター、企業、いろいろなどでも活躍しているから、4年間の実習や授業の中で、自分がどこで働きたいか見つけたらいいと思うんだ。どこで働くにしても、患者さんの気持ちに寄り添いながらサポートできる作業療法士になりたいな。

**布川:** それぞれ道は違うけど、地元で貢献できる医療従事者を目指して、お互い頑張ろうね。

**布川:** 最後に福島県立大学を目指している高校生にメッセージを贈るとしたら。

**緑川:** 毎日の積み重ねが大切。信じていけば必ず道は開けます。

**樋口:** この大学は授業も楽しく、友人も面白い人が多いから、ゼットイ入学するべき！！

**布川:** このキャンパスで来年出逢えることを楽しみにしてます！





## 大学には みんなどうやって 通っているの？

### 【光が丘キャンパス】

福島市の中心部から車で約20分の丘陵地にある光が丘キャンパス。1年生は公共のバスや自転車通学がほとんど。2年生からは自家用車で通うこともできます。ただし、自分で近くに駐車場を借りる必要があります。3年生からは学校内の駐車場が使えます。クラブ活動で遅くなった1、2年生は先輩の車で送ってもらい文化が根付いています。

医学部 1年  
沖田 琴美さん

### 【福島駅前キャンパス】

駅前の好立地ということもあり、徒歩や自転車を使って通う学生が全体の6割。アクセスが良いこともあり、在来線通学が25%、中には新幹線で通学している学生も8%と意外に多いです。

## 一人暮らしは住まいは どうしているの？

### 【光が丘キャンパス】

福島駅周辺や大学周辺に住んでいる学生が多いです。通学時間は30分未満で、家賃は30,000円～50,000円前後が主流です。

### 【福島駅前キャンパス】

福島駅周辺に住んでいる学生がほとんど。通学時間も30分未満の人が7割を占めます。家賃は35,000円～50,000円前後の物件に住んでいる人が多いです。

保健科学部 2年  
石川 真菜さん

## みんなサークルに 入っているのかな？

医学部 6年  
二瓶 優歩さん

光が丘キャンパス、福島駅前キャンパス共に、約半数の人がサークルに所属しています。忙しそうに感じる大学生活ですが、アクティブに活動している学生も多くいます。勉強も大切ですが、大学生活をenjoyすることも大切。

# 教えてセンパイ！

気になる キャンパスライフのコト

## アルバイトは しているのかな？

飲食店や塾講師などをしている学生が多いです。授業に影響が出ないように、週に2～3日間程度で、1日に3時間程度の勤務時間が平均的。先輩たちは1日の時間を上手に活用してアルバイトをしています。

保健科学部 2年  
荒井 麻佑さん

## ランチは学食？ それともお弁当？

### 【光が丘キャンパス】

学食やキャンパス内のコンビニを利用する学生に加え、手作り弁当を持参する学生も多くいます。

### 【福島駅前キャンパス】

学食が無い代わりに、お昼休みにエントランスホールでお弁当・パンの販売があります。コンビニや近くの飲食店を利用する学生もいますが、お弁当持参が約6割と意外に多いです。

保健科学部 2年  
前田 悠貴さん

## 大学でアパートは 紹介してくれる？

合格者は福島医大生向けの物件の情報サイトが閲覧可能です。そこで見つけてもいいし、学生寮もあるので、自分のスタイルにあった住まいを探すのがオススメです。

医学部 5年  
岡村 悠里さん

## 福島はやっぱり寒い？

福島市は盆地のため夏は蒸し暑く、冬は冷たい風が吹き積雪もあります。春先でもコタツが必要な日もあるとか。雪の量は年によって違いますが、自転車を通えなくなる日もあり、雪対策をしっかりしておくことがポイント。

ABC

看護学部 2年  
田原 里名さん

## 履修科目は どうやって決めてるの？

必須科目が多いですが、シラバスを確認し担当学科の教員と相談しながら科目を決めている学生がほとんど。福島医大は学年担任制を導入しているので、困ったときや分からないことは、学年担任の先生に相談するのがよいでしょう。もちろん友人や先輩に聞くのもオススメです。



## VOICE

01

大学院看護学研究科  
佐藤 健斗 (看護学部 2015年度卒業)

「術創以外の傷をつくらない」をモットーに  
働きながら大学院で学ぶ。

もともと人のために何かをすることが好きで、東日本大震災や祖父の介護の経験を経て看護師という道を志しました。日々手術看護を実践する中で、「看護学という学問を学び直したい」と思うようになり、大学院への進学を決めました。現在は福島県立医科大学附属病院手術部に勤務し、働きながら学んでいます。日々のモットーは「術創以外の傷をつくらない」で、何事もなくスムーズに手術を終えた時はやりがいを感じます。本学は多様な選択肢を提示し、好奇心を持って学びを深めるために最適な環境が整っています。学んでいく内に、最初思い描いていたものとは違う道に興味や関心を持つことがあるかもしれませんが、そんな心の変化にも応えてくれる場所です。



## VOICE

02

産科婦人科学講座  
菅野 美沙 (医学部 2019年度卒業)

新たな生命の誕生に関わる喜びは  
産婦人科医としての醍醐味。

中学の頃、学校行事で産婦人科医の講演があり、地元の若年妊娠や人工妊娠中絶、性感染症の割合の高さに衝撃を受け、それをきっかけに周産期医療に興味を持つようになりました。大学は、福島県で生まれ育ったため、地元の医療に貢献しようと思い、卒業後のビジョンを考えやすい本学を選びました。現在は太田西ノ内病院の産婦人科に勤務しています。普段は分娩や手術、外来業務を行っており、分娩という新たな生命の誕生の瞬間に関わる喜びは産婦人科医の醍醐味です。受験生活は長く辛いものかもしれませんが、大学生活は新たな挑戦がたくさんできる場です。視野を広く、情報収集を怠らないことをお勧めします。皆さんといっしょに働ける日を楽しみにしています。

## from GRADUATES

医の道を想い、指導医や研修医として活躍する先輩からのエール

## VOICE

03

基礎看護学部門  
佐藤 美保 (看護学部 2013年度卒業)

教員として尊敬する先生方の下で看護教育に携わり、  
学生と成長できることがやりがい。

自分の入院・手術経験と認知症の祖母の介護経験を活かしたいと思い、看護師をめざすようになりました。大学は、自分がお世話になった福島県立医科大学附属病院に恩返しをしたいと思い、本学を希望しました。卒業後は附属病院で看護師をしていましたが、ご縁があり、看護学部の教員として勤務させていただいています。尊敬する先生方の下で福島県の看護教育に携わることができ、学生とは共に成長できることにやりがいを感じています。また、現在大学院看護学研究科の学生でもあり、自分の看護観を見つめ直すとともに、口唇裂口蓋裂者の方の心理的な研究に取り組んでいます。本学は人としても成長できる環境が整っています。いっしょに看護について学びましょう。



## VOICE

04

神経精神医学講座  
錫谷 研 (医学部 2017年度卒業)

世界が目指す「Fukushima」で医学を学び、  
精神科というチーム医療に取り組む。

幼い頃から協働して何かを成し遂げることが好きで、将来はそのような経験をできる職業に就きたいと思っていました。そう思い始めた時期に「チーム医療」の話題を耳にし、医師に興味を持ちました。現在は精神科を専攻していますが、精神科は活動の場が病院内だけでなく地域にも広がっているため、まさに「チーム医療」を進める楽しさがあります。また私は本学の大学院にも進学し、脳波の勉強をしています。その一環で半年間スペインのバルセロナ大学に留学し、刺激的な毎日を送ることができました。海外ではどこに行っても「Fukushima」が知られており、世界中から注目される福島で医学を学ぶということは大きな意味を持つと思っています。



福島県立医科大学を  
“もっと知る”ためのキーワード

KEY WORDS

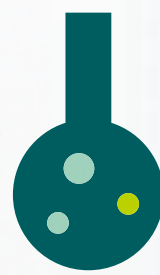
医学部・看護学部・保健科学部の3学部6学科となり、医療系の総合大学に進化した福島県立医科大学。地域と寄り添いながら、高度で先進的な活動や研究に取り組み、多くの人材を育成し続けるのには理由があります。

MORE FMU



### 地域医療

先進医療の充実や診療体制を整備し、39診療科・778床の施設を有する附属病院と連携し、福島県の医療の砦としての役割を果たすことも大きな目的です。教育、研究、そして医療の現場を数多く経験することで、地域の発展に尽力できる医療人の育成に努めています。



### スキルラボ → P.27

スキルラボの愛称で親しまれている、医療人が診療技能を修得するための施設です。失敗を恐れず何度でも練習できるため、医学生や看護学生はもちろん、研修医や病院スタッフまで活発に利用されています。



### ビジョン2014

東日本大震災と原発災害発生から3年余、この災害を忘れず、風化させず、県民とともに希望の未来を拓くことを目的に、本学の新たなビジョンとして力強く提示された「ビジョン2014」。未曾有の災害に立ち向かう福島県立医科大学の決意を知ることができます。



### 多職種連携

近年の医療では「質の向上」が叫ばれるとともに、多彩な専門領域の中で活躍できるスペシャリストが求められています。医学部、看護学部、そして保健科学部の学生がともに学び、多職種連携を実際に経験していくことで、チーム医療を担う人材を育てています。



### 国際交流

学生や教職員の国際交流や、学生派遣や留学生の受け入れなど盛んに行われているのも大学の魅力のひとつ。国際的視野や知見を広げることのできる貴重な体験となるとともに、人間として成長する時間でもあります。



### トップレベル

福島県全体の医療水準を向上させる臨床研究・治験ネットワーク中核の研究拠点を目指し、大学の特色を生かした独創的な研究が数多く行われています。ここでの成果が県民はもとより広く社会に還元されています。



### 変化を進化に

福島県立医科大学の特色ある教育研究、先進的な診療・研究設備はもちろん、大学のことがよく分かる紹介ビデオを公開中。ここで学ぶ先輩たちのインタビューや緑豊かなキャンパスの雰囲気も知ることができます。





# CLUB & CIRCLE

学年や学科を超えて、仲間と過ごす時間は一生の宝物。体育会系から文化系まで、思い思いのスタイルでキャンパスライフを楽しんでいます。



女子バスケットボール部



弓道部



ダンスサークル Zacc



剣道部



卓球部



柔道部



ラグビー部



スキー部



ギター部



管弦楽団



プライマリ・ケアを学ぼう会



漕艇部



囲碁部



ワンダーフォーゲル部



ウィンドアンサンブル同好会



混声合唱団

## 【運動部】

アーチェリー部、空手部、弓道部、剣道部、硬式庭球部、ゴルフ部、男子サッカー部、山岳部、柔道部、水泳部、スキー部、スピードスケート部、軟式テニス部、鉢道部、卓球部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、バドミントン部、男子バレーボール部、女子バレーボール部、漕艇部、準硬式野球部、ラグビー部、陸上競技部、ワンダーフォーゲル部、ハンドボール部、女子サッカー部、自転車部

## 学生自治会

本学の学生自治会は医学部・看護学部の学生が運営しているもので、主な取組として、クラブ活動の助成、新入生歓迎会、学園祭(光が丘祭、光翔祭)の運営などを行っています。クラブは現在28の運動部と10の文化部、18の同好会があり、どの部も活発に活動を行っています。また、多くの学生が2つ以上のクラブ、同好会に参加しており、充実した学生生活を送っています。

## 【文化部】

囲碁部、管弦楽団、基礎医学研究会、ギター部、軽音楽部、混声合唱団、赤十字奉仕団、写真部、落語研究部

## 【同好会】

JUST FIT BAR、裏千家茶道部、ピアカウンセリング研究会、ダンスサークル Zacc、プライマリ・ケアを学ぼう会、アカペラサークル阿修羅、ウィンドアンサンブル、IFMSA-Fukushima、チアーズ、文芸部、Fukushima Will、ぬいぐるみ病院、ジャズ研究会、フリースノーボードサークル 540°、日本酒研究会、POMk Project、蓬莱技術研究機構、論文愛好会MOO会、ボランティアサークルTomorrow



# CAMPUS MAP

福島県立医科大学のある福島市光が丘は、福島市の中心部から南へ車で約20分の丘陵地にあり、豊かな自然に恵まれた環境で敷地面積は約38ヘクタールあります。

2021年に新設された保健科学部は、福島市の中心地区にありアクセスの良さが魅力です。

## 光が丘キャンパス

- ① 1号館(管理棟)
- ② 2号館(臨床医学系研究棟)
- ③ 3号館(生命科学・社会医学系研究棟)
- ④ 4号館(総合科学系研究棟)
- ⑤ 5号館(福利厚生棟・講義棟・実習棟)
- ⑥ 6号館(講義棟)
- ⑦ 7号館(光が丘会館(同窓会館))
- ⑧ 8号館(看護学部棟)
- ⑨ 9号館(医療研修センター)
- ⑩ 10号館(医学部附属研究施設)
- ⑪ 11号館(臨床講義棟)
- ⑫ 12号館(新実習棟)

スマホで  
check!



キャンパス内を  
バーチャル360°体験!

## 福島駅前キャンパス

福島県立医科大学  
保健科学部



### ヒポクラテスの樹

医聖ヒポクラテスが木陰で医学を教えたという伝説から「ヒポクラテスの樹」とも呼ばれるプラタナス(すずかけ)の木です。医療系大学のシンボルツリーとして知られていますが、福島県立医科大学のプラタナスは伝説発祥の地・ギリシアのコス島生まれの由緒ある木です。

### 附属学術情報センター(図書館・展示館)

附属学術情報センターは、図書館、展示館そして、情報教育および情報ネットワークの機能を持っています。図書館には医学、看護学および医療分野の専門的資料を中心に240,000冊の蔵書、7,700種の雑誌、約10,000タイトルの電子ジャーナル、7,200タイトルの電子ブック(令和4年3月末現在)を擁し、最新の情報を提供しております。令和3年4月保健科学部設置に伴い学部の2階に図書室を開設しました。展示館には、ヒトの体のしくみを学ぶ各種標本、模型等が展示されており、教育・研究に利用されています。大学(光が丘と福島駅前キャンパス)には学内LANが整備され、電子メール、Web閲覧、グループウェアの利用などの情報サービスを提供しています。

附属学術情報センター(光が丘キャンパス)	
階数	内容
2	図書館 閲覧室・情報検索室・情報管理室・個室 展示館 標本展示室・視聴覚教育室
1	図書館 書庫・閲覧室・自由閲覧室・個室

保健科学部図書室(福島駅前キャンパス)	
階数	内容
2	ラーニングcommons・グループ学習室・閲覧室

保健科学部図書室

ヘリポート

※敷地内は全面禁煙です。



# FACILITIES

## 1号館(管理棟)

福島県立医科大学の運営をはじめ、経営企画などを行っています。

	階数	
理事長室 副理事長室 ふくしま国際医療科学 センター長室	3	企画・管理運営担当理事室 経営・内部統制担当理事室 総務課 企画財務課 地域医療支援センター
復興推進課 ふたば救急総合医療 支援センター	2	医療情報部 総務課(大学管理)
総務課 (管財、施設)	1	医学部長室 病児病後児保育所「すくすく」 第一カンファランス



1号館玄関ホール

## 5号館(福利厚生棟)



5号館(福利厚生棟)



食堂



学生ホール

5号館には、学生ホール、談話室、食堂などがあり、学生生活や学生活動をサポートしています。

階数	
2	学生ホール・第7、第8講義室
1	食堂・教育研修支援課

## 講堂



講堂



ホール

座席数500のホールを中心に控室や小会議室などがあります。照明や音響設備も充実しており、学内行事等に利用されています。

## 7号館(光が丘会館)

医学部卒業生より寄附された同窓会館です。大会議室、小会議室などを完備しています。学術総会や同窓会など、福島県立医科大学のさまざまなイベントの会場として幅広く利用されています。



売店



ブックセンター



7号館外観

## 12号館(新実習棟)

平成26年度より学生が広いスペースで日々実習に励んでいます。

階数	
3	化学・微生物・免疫学実習室
2	物理学・多目的実習室
1	組織学・病理学実習室



12号館外観

## 体育館・運動施設



プール



体育館



武道館



テニスコート



野球場

体育館には、体育室、プール、柔道・剣道場および各個室を備えています。屋内の50mプールは温水可能な施設となっています。また、陸上競技場は400mトラックのほか、各種競技のための設備が整備されています。このほか、野球場や弓道場、アーチェリー場、テニスコートなど各種設備が充実しています。

階数	
3	武道館 柔道部・剣道部・空手部・写真部・基礎医学研究会・ゴルフ部 山岳部・アーチェリー部・ラグビー部・軽音楽部・混声合唱団管弦楽団 スピードスケート部・ギター部・ウインドアンサンブル
2	体育館 バスケットボール部・スキー部・囲碁部・赤十字奉仕団 バレーボール部・バドミントン部・ワンダーフォーゲル部・卓球部 水泳部・軟式テニス部・硬式庭球部・漕艇部・準硬式野球部 サッカー部・陸上競技部・ハンドボール部
1	プール



体育館外観





2022年の  
最新情報はWEBでチェック!



**Welcome!!**

学部紹介動画やキャンパス紹介、入試制度など、  
福島県立医科大学のことが  
よく分かる情報がいっぱいです。

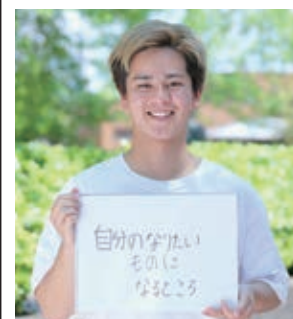
VOICE | VOL.01 FUKUSHIMA MEDICAL UNIV. 1-Hikarigaoka Fukushima-city Fukushima 960-1295 Japan TEL

# YELL! FROM STUDENTS

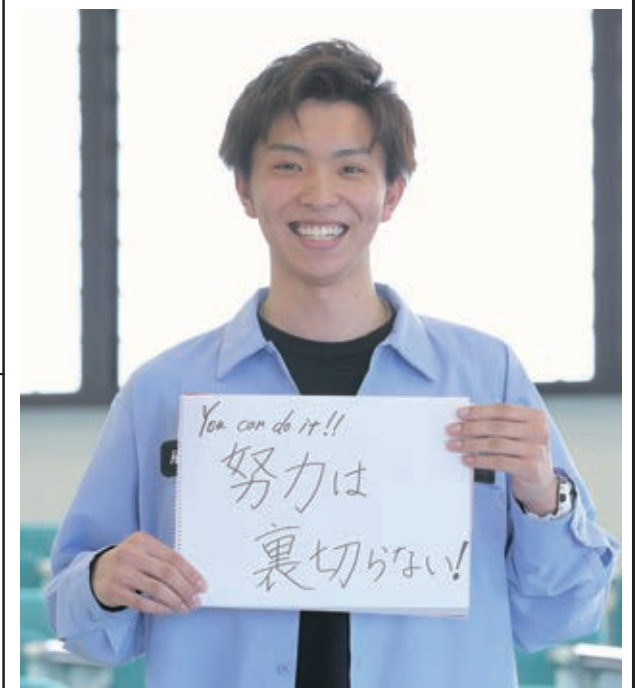
福島県立医科大学の魅力を知るセンパイたちからのメッセージ。  
自分が受験生だったころを思い出して描いたエールをお届けします。



医学部 1年 錫谷 智さん



看護学部 1年 今野 真伸さん



看護学部 1年 小野 藍斗さん



医学部 1年 藤井 帆菜さん



保健科学部 1年 柏原 里奈さん



保健科学部 1年 加瀬 陽向さん



医学部 1年 太田 惇暉さん



保健科学部 2年 佐藤 寿美さん



看護学部 3年 戸田 怜奈さん



看護学部 1年 高橋 希園さん



# DATA データで見る福島県立医科大学

## ■医学部

年度	区分	募集人員	志願者	第1次選考 受験者	第1段階選抜 合格者※	2次試験 受験者	入学者	実質 倍率	入学者内訳					
									地域別		男女別		卒業期別	
									県内	県外	男性	女性	新卒	既卒
令和2年度	前期 一般枠 地域枠	50	270	269	207	50	2.3倍	3	47	32	18	16	34	
		30						4	28	23	9	11	21	
令和3年度	推薦入試 一般枠 地域枠 学校推薦型	50	430	350	287	48	2.9倍	35	13	31	17	32	16	
		30						4	48	35	17	29	23	
		30						9	21	23	7	12	18	
令和4年度	前期 一般枠 地域枠	45	386	332	278	46	3.3倍	3	43	31	15	23	23	
		30						6	24	24	6	13	17	
	推薦	50	157	152	46	3.3倍	31	15	27	19	30	16		
	総合型	5	29	16	5	3.2倍	3	2	3	2	5	0		
	海外教育	若干名	7	5	3	1.3倍	0	3	1	2	0	3		
	外国人留学生	若干名	1	0	0									

※総合型は第1次選考合格者数

## ■看護学部

年度	区分	募集人員	志願者	2次試験 受験者	最終 合格者数	入学者	実質 倍率	入学者内訳					
								地域別		男女別		卒業期別	
								県内	県外	男性	女性	新卒	既卒
令和2年度	前期	40	112	109	52	43	2.1倍	25	18	8	35	38	5
	後期	10	146	51	14	11	3.6倍	4	7	1	10	11	0
	推薦入試	30	59	59	30	30	2.0倍	30	0	1	29	30	0
	社会人	4	1	1	0	0		0	0	0	0	0	0
令和3年度	前期	40	113	107	49	43	2.2倍	27	16	3	40	42	1
	後期	10	126	51	14	11	3.6倍	7	4	2	9	9	2
	推薦入試	30	61	61	30	30	2.0倍	30	0	0	30	30	0
	社会人	4	2	2	0	0		0	0	0	0	0	0
令和4年度	前期	44	120	115	44	44	2.3倍	22	22	6	38	40	4
	後期	10	135	49	10	10	4.5倍	5	5	1	9	9	1
	学校推薦型	30	59	59	30	30	2.0倍	30	0	1	29	30	0

※令和4年度から「社会人」廃止

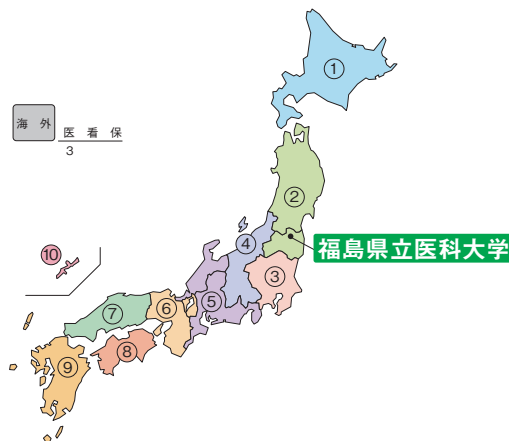
## ■保健科学部

年度	学科	区分	募集人員	志願者	第1段階 選抜合格者	第2段階 選抜受験者	入学者	実質 倍率	入学者内訳					
									地域別		男女別		卒業期別	
									県内	県外	男性	女性	新卒	既卒
令和3年度	理学療法学科	前期	24	56	56	53	24	2.1倍	6	18	14	10	21	3
		学校推薦型	16	23	-	-	16	1.4倍	16	0	5	11	16	0
	作業療法学科	前期	24	30	30	25	22	1.0倍	10	12	6	16	22	0
		学校推薦型	16	29	-	-	16	1.8倍	16	0	2	14	15	1
	診療放射線科学科	前期	15	118	60	60	15	4.0倍	6	9	8	7	12	3
		学校推薦型	10	26	-	-	10	2.6倍	10	0	3	7	10	0
臨床検査学科	前期	24	102	96	89	24	3.3倍	7	17	8	16	10	4	
	学校推薦型	16	32	-	-	16	2.0倍	16	0	5	11	16	0	
令和4年度	理学療法学科	前期	24	52	52	48	24	1.8倍	6	18	17	7	20	4
		学校推薦型	16	36	-	-	16	2.3倍	16	0	6	10	16	0
	作業療法学科	前期	24	48	48	45	22	1.6倍	15	9	10	14	23	1
		学校推薦型	16	23	-	-	16	1.4倍	16	0	0	16	16	0
	診療放射線科学科	前期	15	30	30	30	15	1.7倍	5	10	9	6	10	5
		学校推薦型	10	24	-	-	10	2.4倍	10	0	5	5	9	1
臨床検査学科	前期	24	47	47	45	24	1.7倍	4	20	1	21	21	3	
学校推薦型	16	34	-	-	16	2.1倍	16	0	2	16	16	0		

## ■入学者の出身高校所在地別内訳

(令和4年度)

① 北海道 医 看護 保 北海道 1 1	③ 関東 医 看護 保 茨城 6 7 6 栃木 8 5 4 群馬 1 2 埼玉 8 千葉 6 1 1 東京 19 2 神奈川 9	⑤ 中部・近畿 医 看護 保 静岡 3 1 愛知 1 富山 1 福井 1	⑦ 中国 医 看護 保 広島 1	⑨ 九州 医 看護 保 福岡 1 大分 1 宮崎 1	海外 医 看護 保 3
② 東北 医 看護 保 青森 1 1 岩手 1 1 4 宮城 9 5 17 秋田 1 1 1 山形 4 3 6 福島 43 64 88	④ 甲信越 医 看護 保 新潟 1 4 長野 3 2 山梨 1	⑥ 近畿 医 看護 保 京都 1 大阪 1 1 兵庫 1 奈良 1 滋賀 1 1	⑧ 四国 医 看護 保	⑩ 沖縄 医 看護 保	



## ■入学科・授業料・諸会費等

(1) 入学科・授業料

入学科	区分	医学部	看護学部	保健科学部
	福島県の住民	282,000円	282,000円	282,000円
福島県の住民でない者	846,000円	564,000円	564,000円	
授業料	区分なし	535,800円	535,800円	535,800円

(2) 諸会費等

区分	医学部	看護学部	保健科学部
後援会費	300,000円	100,000円	-
学生会費	10,000円	7,000円	-
同窓会費	42,000円	卒業時10,000円	-
学生総合補償制度掛金	72,000円程度(コース例)	52,000円程度(コース例)	52,000円程度(コース例)

※入学科、授業料の改定が行われた場合は改定後の金額を適用します。※経済的理由により納付が困難な場合は、選考の上免除または減額する制度があります。※その他、テキスト、実習用器具等の購入経費及び実習に関わる経費が必要となります。※改定される場合があります。

## ■修学資金制度

卒業後一定期間の勤務を条件として貸与された修学資金の返還が免除される制度(福島県緊急医師確保修学資金、福島県保健師等修学資金)があります。その他、各地方自治体、各種団体などによる修学資金制度もありますので、詳しくはお問い合わせください。(令和4年度現在)

## ■大学学生数

区分	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
		医学部	45(18)	45(16)	48(19)	43(11)	40(15)	
看護学部	57(52)	65(62)	58(50)	65(62)			245(226)	
	28(24)	22(20)	22(20)	21(20)			93(84)	
保健科学部	22(13)	22(15)					44(28)	
	18(4)	18(6)					36(10)	
学部合計	193(131)	194(140)	106(69)	108(73)	40(15)	44(12)	686(440)	
	178(88)	164(75)	116(46)	112(48)	92(32)	78(28)	740(317)	
計	371	358	222	220	132	122	1,415	

※( )内は女子学生数で内数

## ■大学院学生数

区分	学年	1年	2年	3年	4年	計
		医学専攻(博士課程)	19	56	46	
医科学専攻(修士課程)		7	8			15
災害・被災医療科学共同専攻(修士課程)		5	10			15
計		31	74	46	98	249
看護学研究科	実践開発看護学領域(博士後期課程)	2	-	-		2
	がん看護学領域(博士前期課程)	0	2			2
	成人看護学領域(博士前期課程)	0	2			2
	家族看護学領域(博士前期課程)	0	0			0
	老年看護学領域(博士前期課程)	1	1			2
	精神看護学領域(博士前期課程)	3	6			9
	母性看護学領域(博士前期課程)	0			0	
	小児看護学領域(博士前期課程)	0	2			2
	地域看護学領域(博士前期課程)	0	3			3
	計	6	16	0	0	22
合計	37	90	46	98	271	

## ■学位(博士[医学])授与者数(平成2年~)

総数	年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	計
		大学院	14	7	6	12	13	15	3	11	10	6	10	19	12	19	9	16	20	21	21	25	25	22	19	23	19	31	28	26	26	24	29	
論文	65	23	48	29	88	39	61	31	30	54	32	23	24	23	16	41	25	15	18	11	11	12	11	12	2	7	8	7	11	4	8	7	796	
計	79	30	54	41	101	54	64	42	40	60	42	42	36	42	25	57	45	36	39	36	36	34	30	35	21	38	36	33	37	28	37	51	1,381	

## ■学位(修士)授与者数

区分	年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	計
医科学								6	9	5	6	4	5	7	5	3	10	6	8	5	
看護学		5	5	1	5	6	5	8	10	1	18	10	6	8	3	7	7	8	3	7	123
災害・被災医療科学																	7	11	6	5	36

## ■卒業生の状況 医学部(平成2年~)

卒業回数	卒業年度	卒業者数	地域別		県内						不明	死亡
			県外	県内	本学	開業医	公立病院	その他病院	その他			
38	2	95	43	44	6	9	6	16	7	7	1	
39	3	86	27	57	12	13	5	24	3	2	-	
40	4	91	43	44	9	7	2	21	5	3	1	
41	5	72	33	36	6	5	3	18	4	2	1	
42	6	86	52	29	7	3	2	13	4	4	1	
43	7	81	28	51	20	2	1	18	10	1	1	
44	8	88	40	43	15	-	3	22	3	5	-	
45	9	72	33	36	16	1	3	10	6	3	-	
46	10	90	41	43	12	1	2	18	10	6	-	
47	11	84	49	32	14	1	1	12	4	3	-	
48	12	78	35	40	23	-	2	14	1	3	-	
49	13	73	38	31	16	-	2	13	-	4	-	
50	14	77	46	29	18	-	3	6	2	2	-	
51	15	85	38	42	16	-	2	17	7	5	-	
52	16	73	40	30	16	-	1	12	1	3	-	
53	17	79	47	30	13	-	4	11	2	2	-	
54	18	82	48	33	12	-	-	19	2	1	-	



# 福島県立医科大学は 助産師を養成します。

## [令和5年4月 2課程 設置構想中]

### 別科助産学専攻

別科助産学専攻は、1年間で助産師国家試験受験資格を取得する課程です。この課程では、助産師としての専門知識と実践能力を培うための基礎を学びます。

- 【修業年限】1年
- 【取得可能資格】助産師国家試験受験資格

募集人員 **20名**

※内容は予定であり、変更する場合があります。

### 大学院看護学研究科博士前期課程 看護学専攻母性看護学・助産学領域助産師コース

大学院看護学研究科博士前期課程看護学専攻母性看護学・助産学領域助産師コースは、国公立大学で東北初となる助産師国家試験受験資格が取得できる大学院です。この課程では、助産学に関する研究能力と助産師としての高度な知識と技術を身につけます。

- 【修業年限】2年
- 【取得可能】修士(助産学)(予定) / 学位・資格 助産師国家試験受験資格

募集人員 **5名**



助産師養成課程設置準備室



詳しくはホームページをご覧ください

2022年秋 新たな学び舎が  
光が丘キャンパスに  
完成予定

※助産師養成施設(仮称)完成イメージ



### ■卒業生の状況 看護学部

(令和4年5.1現在)

卒業回数	卒業年度	卒業生数	地域別		県内内訳				
			県外	県内	県	市町村	公立病院	その他病院	その他
1	13	87	57	30	10	4	1	15	-
2	14	86	60	26	12	1	2	11	-
3	15	83	43	40	15	-	3	18	4
4	16	81	47	34	10	1	2	21	-
5	17	90	51	39	2	1	14	19	3
6	18	88	47	41	-	2	21	17	1
7	19	89	46	43	2	1	25	15	-
8	20	83	47	36	-	3	17	15	1
9	21	92	52	40	-	1	13	23	3
10	22	92	37	55	-	2	27	22	4
11	23	89	49	40	-	2	22	14	2
12	24	88	43	45	3	4	20	18	-
13	25	83	34	49	4	3	21	19	2
14	26	72	28	44	2	5	29	8	-
15	27	85	26	59	1	7	40	8	3
16	28	86	32	54	1	9	33	7	4
17	29	87	33	54	3	6	31	8	6
18	30	79	39	40	1	6	27	5	1
19	元	80	28	52	1	5	35	7	4
20	2	84	22	62	3	8	40	8	3
21	3	83	28	55	3	5	36	7	4
合計		1,787	849	938	73	76	459	285	45

### ■国家試験の状況 [過去5年分]

医師国家試験年次別合格者(総数)

実施年	30	元	2	3	4
回数	112	113	114	115	116
受験者(人)	108	146	141	130	139
合格者(人)	103	132	134	119	128
合格率(%)	95.4	90.4	95.0	91.5	92.1
全国合格率(%)	90.1	89.0	92.1	91.4	91.7

医師国家試験年次別合格者(新卒者・既卒者別)

実施年	30	元	2	3	4
回数	112	113	114	115	116
新卒者					
受験者(人)	99	143	126	123	129
合格者(人)	97	131	122	115	121
合格率(%)	98.0	91.6	96.8	93.5	93.8
既卒者					
受験者(人)	9	3	15	7	10
合格者(人)	6	1	12	4	7
合格率(%)	66.7	33.3	80.0	57.1	70.0

福島県立医科大学の合格順位(総数(新卒・既卒))

実施年	30	元	2	3	4
回数	112	113	114	115	116
公立(8校)中	2	6	6	7	6
国公立(51校)中	5	31	14	32	27
全大学(81校)中	13	47	26	49	44

保健師国家試験の合格状況

実施年	30	元	2	3	4
受験者(人)	87	79	80	84	83
合格者(人)	73	65	78	83	78
合格率(%)	83.9	82.3	97.5	98.8	94.0
全国合格率(%)	85.6	88.1	96.3	97.4	93.0

助産師国家試験の合格状況

実施年	30	元	2	3	4
受験者(人)	7	6	6	5	5
合格者(人)	7	6	6	5	5
合格率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
全国合格率(%)	99.4	99.9	99.5	99.7	99.7

看護師国家試験の合格状況

実施年	30	元	2	3	4
受験者(人)	87	79	80	84	83
合格者(人)	87	78	79	83	82
合格率(%)	100.0	98.7	98.8	98.8	98.8
全国合格率(%)	96.3	94.7	94.7	95.4	96.5

### 学生寮

学生に学習面と生活面における良好な環境を提供するため、東日本大震災で被災し取り壊しとなった旧学生寮に代わり、新たな寮を平成28年4月に開寮しました。学生寮は、学部や学年の垣根を越えて集団生活をする事により、対人関係を学ぶとともに、地域や他者との交流をしていく中で豊かな人間性を養うことができる場です。

#### 〈学生寮の概要〉

- ・所在地 福島市渡利字大久保60番地1
- ・建物概要 鉄筋コンクリート造り3階建て
- ・定員 84名(男子42名、女子42名)
- ・寮室 面積約30㎡、3人の相部屋(寝室は個室)冷暖房完備
- ・食事提供 あり(平日の朝食及び夕食)
- ・寄宿料等 月額49,000円



※1 令和4年3月現在の金額です。  
※2 朝・夕の食事代、光熱水費、インターネット使用料等込みの金額です。

### ■学生生活・入学試験に関するお問い合わせ先

#### 医学部・看護学部

公立大学法人福島県立医科大学 教育研修支援課  
〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地  
TEL 入試係 024-547-1093  
e-mail gakuseik@fmu.ac.jp

#### 保健科学部

公立大学法人福島県立医科大学 保健科学部事務室  
〒960-8516 福島県福島市栄町10番6号  
TEL 入試・企画係 024-581-5508  
e-mail h-nyushi@fmu.ac.jp